



HIC-ST2000TH

検温ターミナル

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.
第 2 版

装置を操作する前に この説明書をよくお読みください。

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複製または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2020 年 11 月 30 日	新規作成
第 2 版	2021 年 4 月 3 日	オプション品追記、バージョンアップ対応

安全性に関する注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 「最近、温度の測定値が以前とかなり差がある」と言った場合は、温度測定センサーの汚れが考えられます。無水エタノールで湿らした綿棒で、温度センサーを清掃してください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。
- 本製品は医療機器ではありません。体表面温度を赤外線で測定するため、外気温の影響を受け、脇の下などで実測式体温計を使って測定した値とは差異が発生します。
本機の測定で異常体温者を感知した場合は、医療用体温計での再測定をお願いします。
- 冬季に外気温で額表面の温度が低い時には、温度の測定に時間が掛かったり、測定できない場合があります。室内で一定時間過ごし、額が温まってから測定してください。
- 本製品を分解しないでください。感電を防ぐために、ネジやカバーを取り外さないようにしてください。
- 万一故障した場合は、できるだけ早く最寄りのサービスセンターまでご連絡ください。
- 誤った動作、衝撃振動、上に重いものを置くなどの行為は製品に損傷を与える可能性がありますので行わないでください。
- 温度測定の精度を確保するために、安定した室内環境に設置してください。
- 温度、湿度、電源が規定を超えている場合は、動作させないでください。装置の故障の原因となります。
- ラジエーター、ヒートレジスタ、ストーブなどの熱源から遠ざけてください。装置の故障や誤計測の原因となります。
- エアコンからの直接の気流に製品をあてないでください。正常に計測できない可能性があります。
- このマニュアルのすべての写真、チャート、画像は、当社の製品の説明と説明のためだけです。マイクロソフト、アップル、グーグルに関連する商標、ロゴ、その他の知的財産権の所有権は、上記の企業に帰属します。

免責事項

- ・ インターネットにアクセスできる製品に関しては、製品の使用はご自身でリスクに注意してください。当社は、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス検査、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシー漏洩、その他の損害に対して責任を負いません。
- ・ 監視法は国によって異なります。監視目的のためにこの製品を使用する前に、お住まいの地域のすべての法律を確認してください。当社は、違法な業務に起因するいかなる結果にも責任を負いません。

規制情報

FCC情報

1. FCC コンプライアンス

本製品は、FCCの規則と規制パート15サブパートBに準拠します。これらの規則は、有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。この製品は無線周波数エネルギーを放射する場合があります。取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。また、特定の設置で干渉が発生しない保証はありません。有害な干渉が発生した場合、ユーザーは自費で修正する必要があります。

2. FCC の条件:

本製品の動作は、以下の2つの条件があります。(1) 本デバイスは有害な干渉を発生させない (2) 本デバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を許容する。

CE情報

製品は、次の指令に準拠するように製造されています。

EMC指令 2014/30/EU

RoHS

製品は、電気および電子機器における特定の有害物質の使用の制限に関する指令EU RoHS指令 2011/65/EUおよびその修正指令EU 2015/863に従って設計および製造されています。



2012/19/EU(WEEE指令): 廃電・電子機器に関する指令(WEEE指令)。 WEEEの環境管理を改善するためには、寿命の末に電子機器の回収、処理、リサイクルの改善が不可欠です。したがって、この記号でマークされた製品は、責任ある方法で廃棄する必要があります。

指令94/62/EC: この指令は、包装および包装廃棄物および環境保護の管理を目的としています。本書に記載されている製品の包装・包装廃棄物は、適切なリサイクルと環境保護のために指定された回収ポイントで廃棄する必要があります。

REACH(EC1907/2006): REACHは、化学物質の登録、評価、認可、制限に関するもので、化学物質の本質的な特性をより良く、より早い段階で特定することにより、人の健康と環境を高いレベルで保護することを目的としています。本書の製品は、REACHの規則および規則に準拠します。リーチの詳細については、DG GROWTHまたはECHAのウェブサイトをご覧ください。

目次

1. はじめに.....	1
1.1. 主な特長.....	1
1.2. 付属品.....	1
2. 各部の名称とケーブルインターフェイス.....	2
2.1. 各部の名称.....	2
2.2. 周辺機器インターフェイス.....	2
3. 設置.....	3
3.1. 設置環境.....	3
3.2. 設置高さと人物までの距離.....	3
3.3. 設置方法.....	4
4. ログインとネットワーク接続.....	7
4.1. ログイン.....	7
4.2. ネットワーク構成.....	8
4.2.1.LAN.....	8
4.2.2.WAN.....	10
5. ブラウザからの接続.....	15
6. 検温および顔照合設定.....	20
6.1. 温度スクリーニング設定.....	20
6.2. 使用者管理.....	21
6.3. 顔の認識エリアと認識サイズの設定.....	23
6.4. 顔照合の設定.....	24
6.5. 顔データベース管理.....	25
6.6. マスク検出.....	28
6.7. 温度測定キャリブレーション（オプション）.....	29
7. ライブビュー.....	30
7.1. 温度測定と顔照合ビュー.....	30
7.1.1.検温要件.....	30
7.1.2.温度測定と顔照合ビュー.....	31
7.2. ウェブ経由のライブビュー.....	32
8. アクセス制御設定.....	34
8.1. アクセス制御システム設定.....	34
8.2. ドアロック設定.....	35
8.3. ウィーガンド(Wiegand)の設定.....	36
8.4. いたずら警報設定.....	36
9. その他の構成.....	37
9.1. システム設定.....	37
9.1.1.基本情報.....	37
9.1.2.日付と時間.....	38
9.1.3.ローカル設定.....	38
9.1.4.ストレージ.....	39

9.2. 画像設定	42
9.2.1.画質調整	42
9.2.2.映像/音声の設定	44
9.2.3.OSD 構成	45
9.2.4.白色光制御	46
9.2.5.顔露出	47
9.3. アラーム設定	47
9.3.1.妨害検知	47
9.3.2.SD カードフル	48
9.3.3.SD カードエラー	49
9.3.4.IP アドレスの競合	49
9.3.5.LAN ケーブル接続不良	50
9.3.6.アラーム入力	50
9.3.7.アラーム接点出力	51
9.4. ネットワーク設定	52
9.4.1.TCP/IP	52
9.4.2.ポート	53
9.4.3.サーバー構成	54
9.4.4.DDNS	54
9.4.5.RTSP	56
9.4.6.UPnP	57
9.4.7.電子メール	57
9.4.8.FTP	58
9.4.9.HTTPS	60
9.4.10.P2P (オプション)	62
9.5. セキュリティ設定	62
9.5.1.ユーザー	62
9.5.2.オンラインユーザー	63
9.5.3.ブロックリストと許可リスト	64
9.5.4.セキュリティ管理	64
9.6. メンテナンス構成	65
9.6.1.バックアップと復元	65
9.6.2.再起動	66
9.6.3.アップグレード	66
9.6.4.操作ログ	67
10. 検索	68
10.1. 画像検索	68
10.2. ビデオ検索	70
10.2.1.ローカルビデオ検索	70
10.2.2.SD カードビデオ検索	71
11. 顔照合検索	73

12. タッチパネル操作	74
付録76	
付録 1 トラブルシューティング	76
付録 2 仕様書	78
付録 3 外観	80

1. はじめに

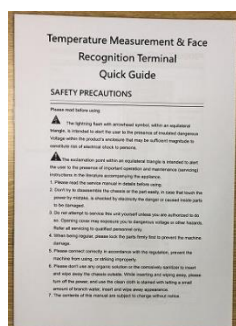
本機は、顔認識および温度測定アプリケーションとして特別に開発されており、非接触体表面温度測定に対応し、高性能、高信頼性、高速照合および高精度率を実現しています。ディープラーニングアルゴリズムに基づいて、温度測定、アイデンティティ認証、アクセス制御を組み合わせています。

本機は温度測定、アイデンティティ認証やアクセス制御により、コミュニティ、学校、病院、観光スポット、ホテル、ショッピングモール、オフィスビル、公共サービス、建設現場などでの入出口管理で 사용할 ことができます。

1.1. 主な特長

- 8 インチ LCD タッチスクリーン
- 高精度 IR 温度測定
- 非接触体表面温度測定
- アラーム警告音声
- リアルタイムのマスク検出
- 二眼カメラでの 3D 生体検出技術による、実際の顔と非現実の顔（写真）のなりすまし認証を区別
- ディープラーニングアルゴリズムを用いた高精度顔認識
- スタンドアロンデバイスとしても、ネットワークデバイスとしても運用が可能

1.2. 付属品



クイックマニュアル(英文)



壁面取付金具用テンプレート



CD(各種ソフトウェア)



壁面取付金具



壁面取付金具用
通線口カバー



通線口カバー用ゴム



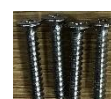
通線口カバー固定用ビス×4
本体/壁面金具固定用ビス×2



固定ビス用レンチ



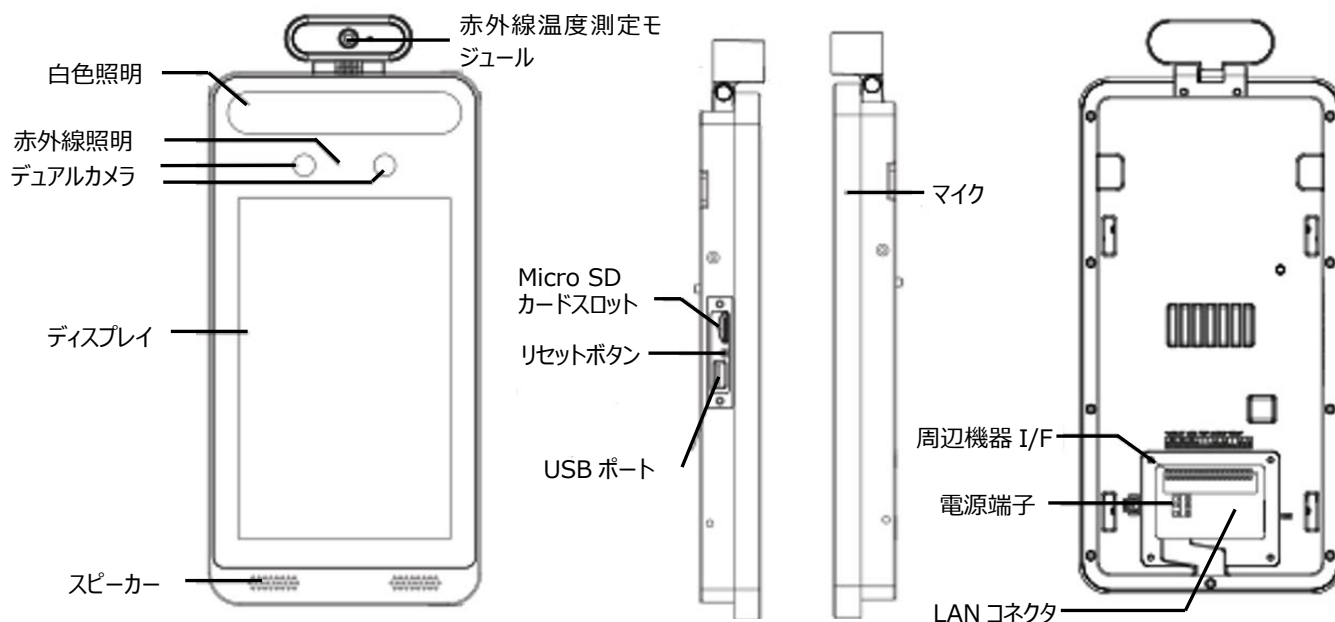
壁面取付金具用アンカー×4



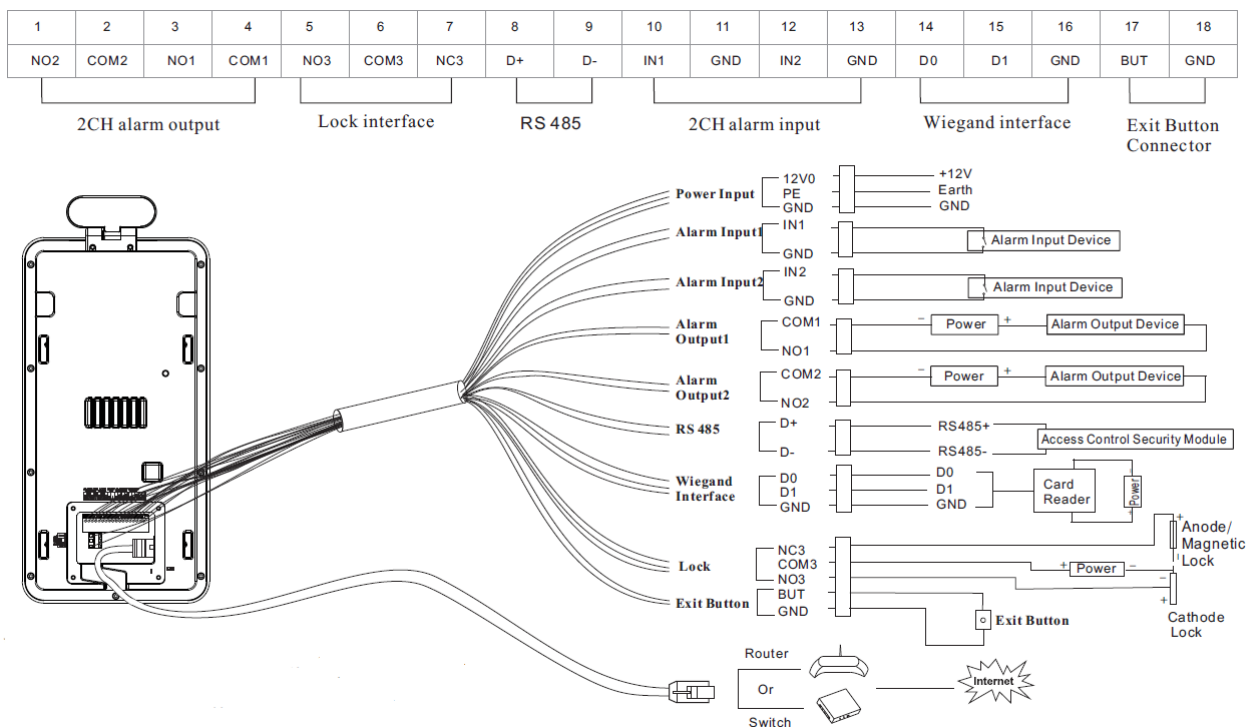
アンカー用ネジ×4

2. 各部の名称とケーブルインターフェイス

2.1. 各部の名称



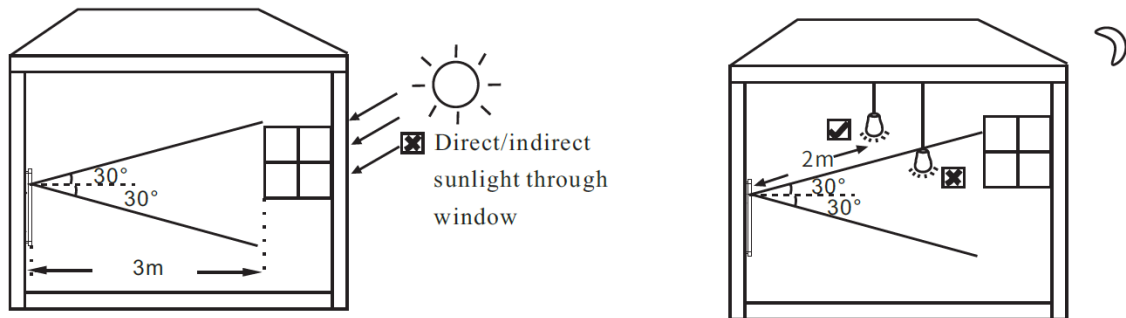
2.2. 周辺機器インターフェイス



3. 設置

3.1. 設置環境

推奨設置環境は次の通りです。

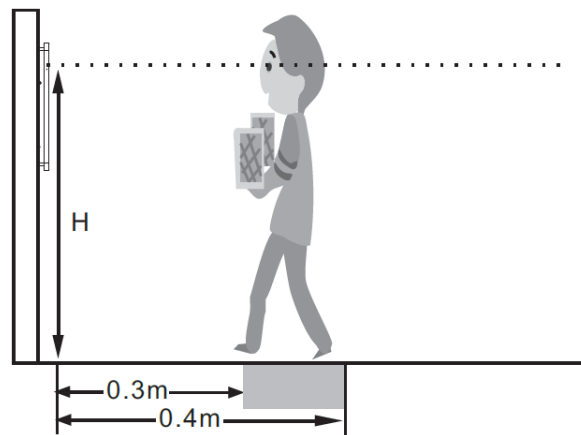


顔がはっきりと撮影できることを確認してください。

直射日光や逆光を避けてください。背景に照明が写り込まないようにしてください。

照明等の光源から少なくとも 2 メートル、窓やドアから少なくとも 3 メートル離れた位置への設置を推奨します。

3.2. 設置高さと人物までの距離



1. 推奨設置高さ：1.30～1.45m

人物の顔をできるだけ正面から撮影できる高さに設置してください。

斜め上から、斜め下からの撮影では、顔の認識精度が低下します。

本機は AI で顔を認識し、認識した顔の額の部分の温度を測定します。

そのため、正面から撮影することが、正確な検温、顔認証を行うための最も重要な要件です。

高さ 1.3～1.45m の高さに設置することにより、本機の認識可能エリアにおいて、身長 1.4～1.9m 人物をカバーできます。

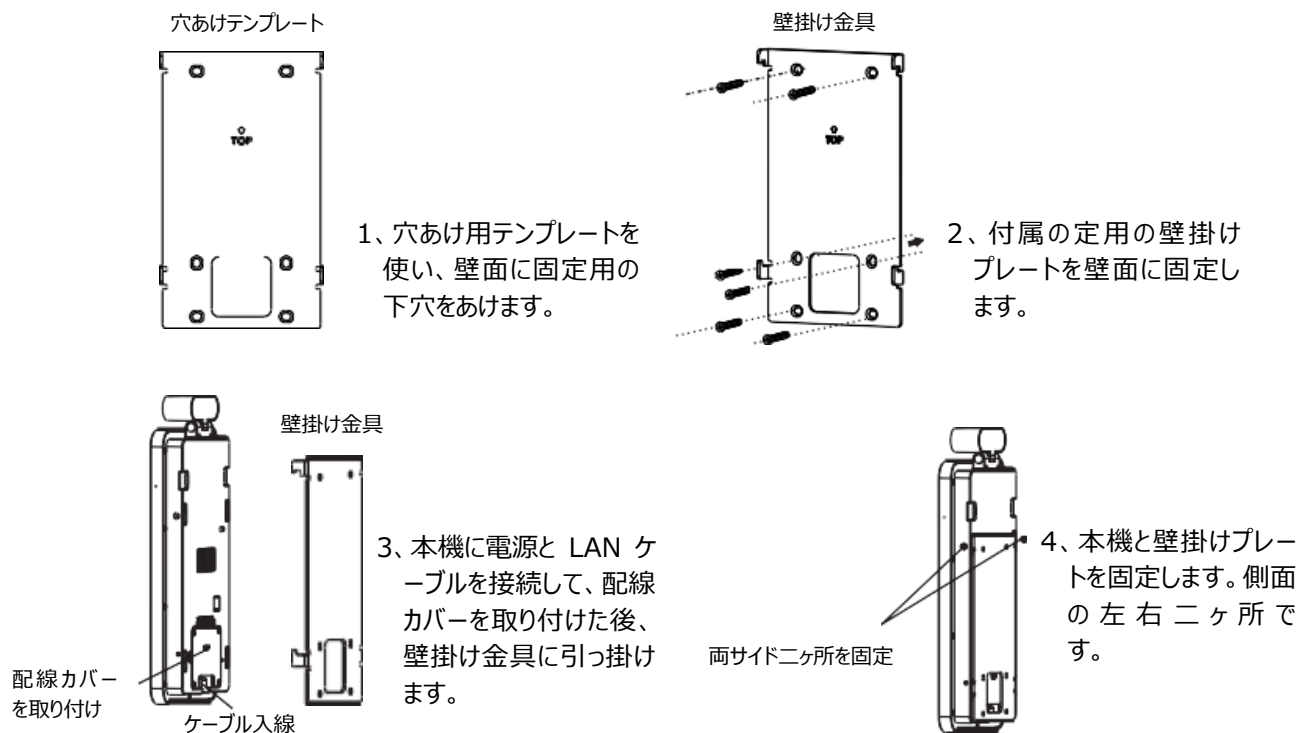
2. 体温測定の推奨距離：画面から 0.3～0.4m

3. 顔認識の推奨距離：0.5～1m

3.3. 設置方法

1. 壁掛け設置

付属の壁掛け金具を使い、壁面に取り付けます。



2. オプション 卓上金具 B660(199-HY-049)による設置

オプションで卓上などに設置するためのマウントパーツを用意しています。



設置方法



0.使用機材は左図のとおりです。



1.スタンドにネットワークケーブルを通します。



2. 付属のスペーサーゴムを貼り付けます



3. 電源コードをスタンドに通し、先に通しておいたネットワークケーブルを本体のコネクタに接続します。



4. 本体とスタンドを付属のネジとレンチを使って固定します。



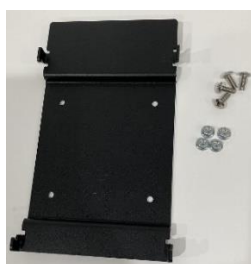
5. 本体とスタンドの角度を調整して固定します。



6. 完成

3. オプション ポールマウント金具 B659(199-HY-050)
OPTION で VESA75 に対応した VESA マウント金具を用意しています。
さまざまな市販の小型モニタ用スタンド及びモニタームがご利用いただけます。

設置方法



0. 使用機材は左図のとおり



1. VESA マウントパーツを VESA75 対応のモニタスタンド等に取り付けます。



2. 付属の M4 ビスとナットで固定します。(上下方向は、金具背面の型名表示ステッカーを上になります)



3. 本体をマウントパーツに引っ掛けます。下側の爪×2 個所に引っ掛けてから押し付けます。



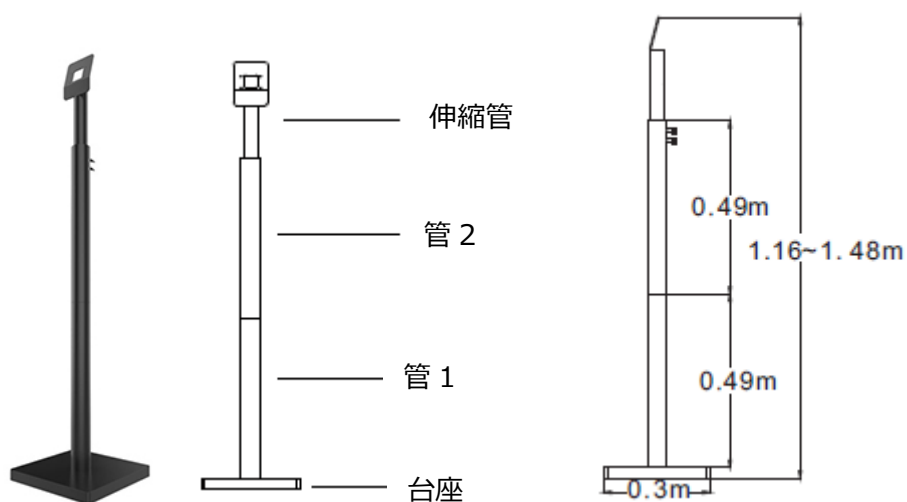
4.上部の左右ニヶ所を付属のビスとレンチで固定します。



5. 完成

4. オプション スタンド金具 B661(199-HY-051)

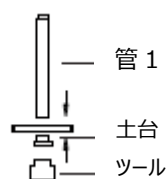
ポールスタンドとなります。管 1、管 2、伸縮管をつなげることで、1.16~1.48m までの高さで対応可能です。また、管 1 を省くことで 0.49m 分を低くすることも可能です。



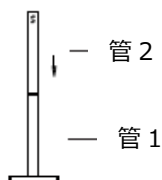
設置方法



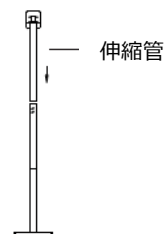
1. 台座の穴に錨を入れます。



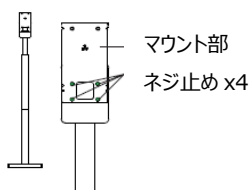
2.土台と管 1 (管 2 も可)を、ツールを使用して固定します。



3.管 1 に管 2 を差し込みます。(2. で管 2 を使用した場合は SKIP)



4. さらに伸縮管を差し込みます。

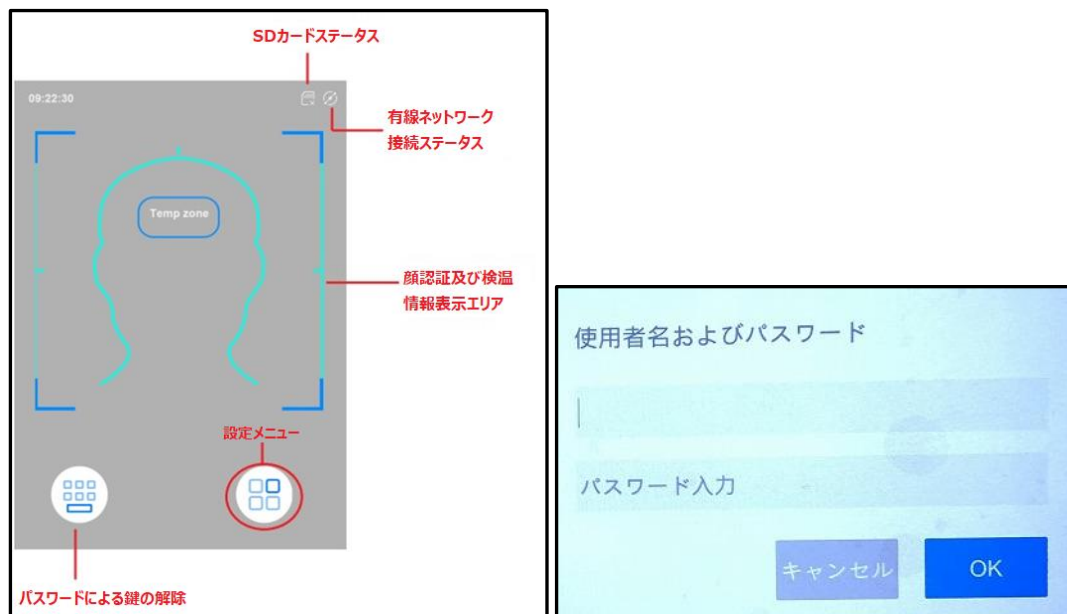


5.本体とマウント部をネジ 4 個で固定します。

4. ログインとネットワーク接続

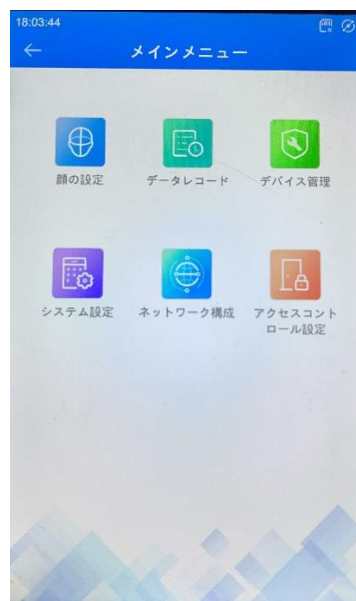
4.1. ログイン

デバイスの電源がオンになると、次の画面が表示されます。



設定メニューボタンをタップしてログインボックスをポップアップ表示します。ユーザー名とパスワードを入力し、次に示すようにメインメニューページを入力するには「OK」をタップします。

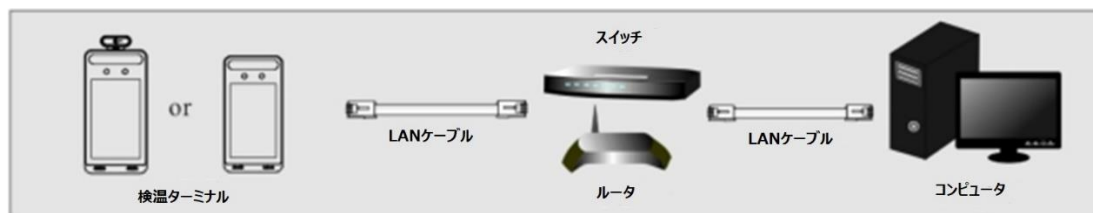
デフォルトのユーザー名: admin デフォルトのパスワード: 123456



4.2. ネットワーク構成

4.2.1.LAN

ネットワーク接続:



ネットワーク構成を設定するには、2 つの方法があります。

- ターミナル経由のネットワークの構成

ターミナルのメインメニューページで「ネットワーク構成」をタップしてネットワーク設定インターフェイスに移動します。



「ローカルネットワーク設定」をタップしてネットワークを設定します。

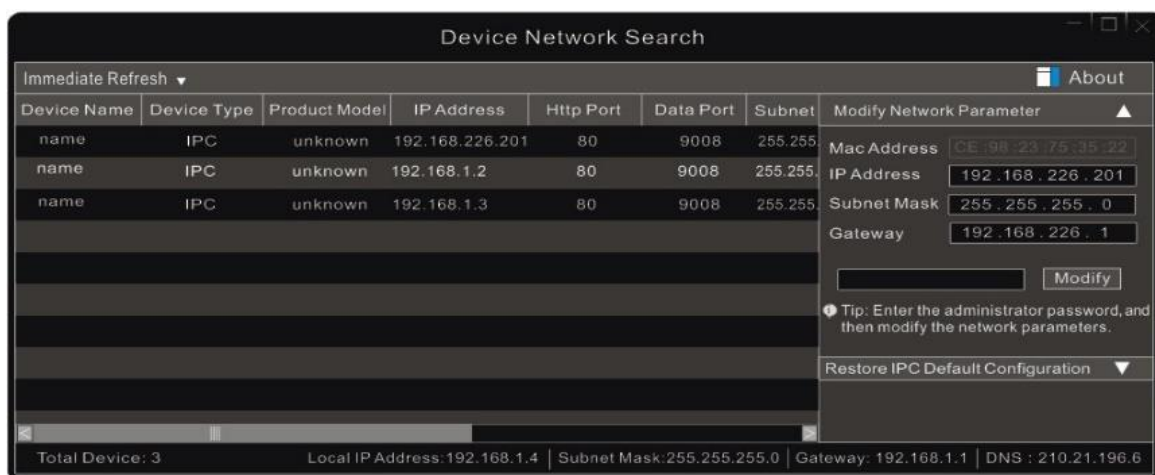


必要に応じて、IPv4 または IPv6 を設定してください。ここでは、IPv4 ネットワーク設定で説明します。
IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーを手動で入力するか、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択してこれらのネットワーク パラメータを取得できます。その後、をクリックして、設定を保存します。

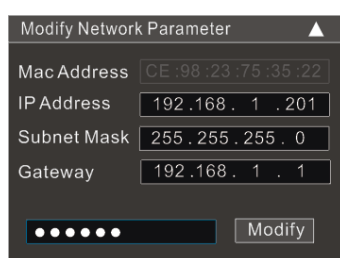
！お知らせ IP アドレスを自動的に取得する場合は、ルータで DHCP 機能を有効にする必要があります。

● IP ツールを使用したネットワークの構成

- ① IP-Tool を付属の CD か、ハイテクインターの H.P からダウンロードし PC(コンピュータ)にインストールしておきます。
- ② PC と検温ターミナルが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上の IP-Tool アイコン  をダブルクリックして、次のようにこのソフトウェアを実行します。



- ④ IP アドレスを変更します。このカメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.226.201 です。上の表に示されているカメラの情報をクリックすると、右側にネットワーク情報が表示されます。カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更し、そのネットワーク アドレスがコンピュータと同じローカルネットワークセグメント内にあるかどうかを確認します。実際の状況に応じて、デバイスの IP アドレスを変更してください。



たとえば、コンピュータの IP アドレスは 192.168.1.4 です。したがって、カメラの IP アドレスは 192.168.1.X に変更されなければなりません。変更後、管理者のパスワードを入力し、[変更]ボタンをクリックして設定を変更してください。



管理者の既定のパスワードは "123456" です。

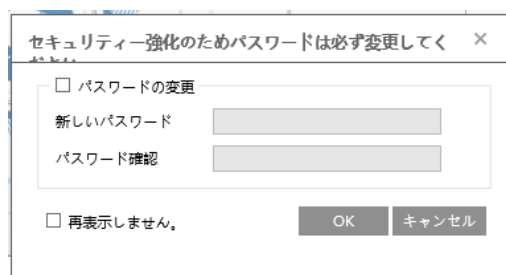
(4) IP アドレスをダブルクリックすると、システムが IE ブラウザをポップアップ表示して検温端末に接続します。指示に従って、Active X コントロールをダウンロードして、インストールを行い、実行します。



ログインウィンドウにログインするユーザー名とパスワードを入力します。



デフォルトのユーザー名は "**admin**" です。デフォルトのパスワードは "**123456**" です。



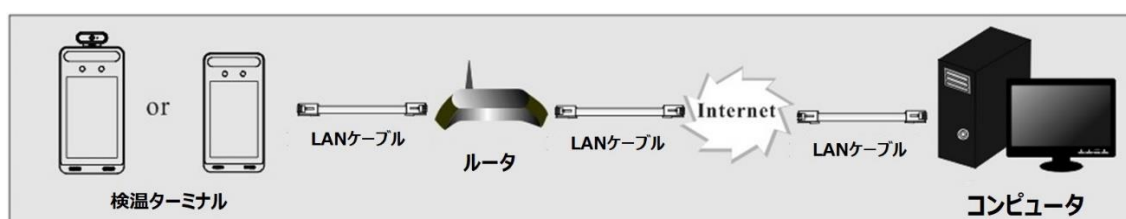
システムは、デフォルトのパスワードを変更するように求めるため上記のテキストボックスをポップアップ表示します。アカウントのセキュリティのためデフォルトパスワードを変更することを強くお勧めします。[今後表示しない] チェックボックスをオンにすると、次回はテキストボックスが表示されません。

！ 注意 アカウントのセキュリティのためデフォルトパスワードを変更することを強くお勧めします。

4.2.2.WAN

ここでは、例として IE ブラウザ経由の Webcam のみを説明します。詳細は以下の通りです。Webcam については次章を参照してください。

- ルータまたは仮想サーバーを介したアクセス



- (1) カメラがローカルネットワークに接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインし、設定→ネットワーク設定→ポートメニューに移動してポート番号を設定します。

詳細は「[9.4.2.ポート](#)」を参照してください。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP UPnP Email FTP HTTPS

HTTPポート	80
HTTPSポート	443
データポート	9008
RTSPポート	554
ロングポーリングポート	8080

保存

ポートのセットアップ

- (2) IP アドレスを変更するには、設定 → ネットワーク設定 → TCP/IP メニューに移動します。
 (3) 詳細は「[9.4.1.TCP/IP](#)」を参照してください。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス	192.168.10.201	テスト
サブネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	192.168.10.1	
優先DNSサーバ	192.168.10.1	
代替DNSサーバ	8.8.8.8	

保存

IP セットアップ

- (4) IE ブラウザを介してルータの管理インターフェイスに移動し、カメラの IP アドレスとポートを「仮想サーバー」に転送します。ルータの設定は、製品により異なりますので、詳しくはルータの取扱説明書をご確認ください。例えば、以下のよう設定画面となります。

Port Range					
Application	Start	End	Protocol	IP Address	Enable
1	9007	to 9008	Both	192.168.1.201	☒
2	80	to 81	Both	192.168.1.201	☒
3	10000	to 10001	Both	192.168.1.166	☐
4	21000	to 21001	Both	192.168.1.166	☐

ルータのセットアップ

- (5) IE ブラウザを開き、WAN IP および HTTP ポートを入力してアクセスします。(たとえば、http ポートが 81 に変更された場合は、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.1.201:81」と入力してアクセスしてください)。

● PPPoE ダイアルアップ経由でアクセス

ネットワーク接続



PPPoE 自動ダイヤルアップを使用してカメラにアクセスします。セットアップ手順は次のとおりです。

- (1) ポート番号を設定するには、設定→ネットワーク→ポートメニューに移動します。詳細は「[9.4.2.ポート](#)」を参照してください。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバー	DDNS	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS
HTTPポート	80						
HTTPSポート	443						
データポート	9008						
RTSPポート	554						
ロングポーリングポート	8080						

- (2) 設定→ ネットワーク設定 →TCP/IP→PPPoE 構成メニューへ移動します。PPPoE を有効にし、インターネットサービスプロバイダーから指定されたユーザー名とパスワードを入力します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
☐ 有効			
ユーザー名			
パスワード			

- (3) 設定 → ネットワーク → DDNS メニューへ進む。DDNS を設定する前に、まずドメイン名を申請してください。詳細については、「[9.4.4.DDNS](#)」の設定を参照してください。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー **DDNS** RTSP UPnP Email FTP HTTPS

☐ 有効

サーバ選択

ユーザー名

パスワード

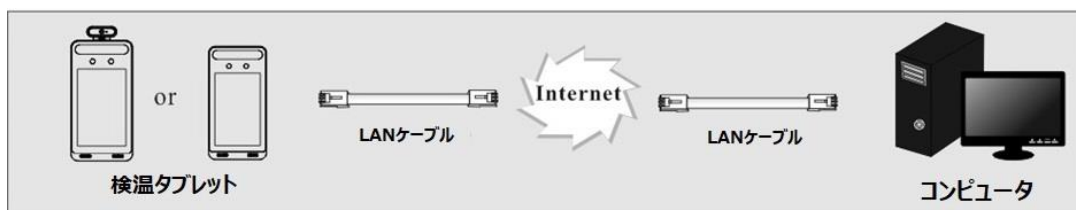
ドメイン

保存

- (4) IE ブラウザを開き、アクセスするドメイン名と HTTP ポートを入力します。

● 静的 IP を介したアクセス

ネットワーク接続



セットアップ手順は次のとおりです。

- (1) ポート番号を設定するには、設定→ネットワーク→ポートメニューに移動します。詳細は「[9.4.2.ポート](#)」を参照してください。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP UPnP Email FTP HTTPS

HTTPポート

HTTPSポート

データポート

RTSPポート

ロングポーリングポート

保存

- (2) IPアドレスを設定するには、設定 → ネットワーク → TCP/IP メニューに移動します。「以下を使用する」をチェック。「IPアドレス」をクリックし、静的IPアドレスとその他のパラメータを入力します。

The screenshot shows the 'TCP/IP' configuration page within the 'ネットワーク設定' (Network Settings) menu. The 'IPv4' tab is selected. Under the '以下を使用する' (Use the following) option, the following fields are filled: IPアドレス (192.168.10.201), サブネットマスク (255.255.255.0), ゲートウェイ (192.168.10.1), 優先DNSサーバ (192.168.10.1), and 代替DNSサーバ (8.8.8.8). A 'テスト' (Test) button is next to the IP address field, and a '保存' (Save) button is at the bottom.

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP	
IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定	
☐ 自動的にIPアドレスを取得する	
☒ 以下のIPアドレスを使う	
IPアドレス	192.168.10.201 テスト
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.10.1
優先DNSサーバ	192.168.10.1
代替DNSサーバ	8.8.8.8
保存	

- (3) IEブラウザを開き、WAN IP およびHTTPポートを入力してアクセスします。

5. ブラウザからの接続

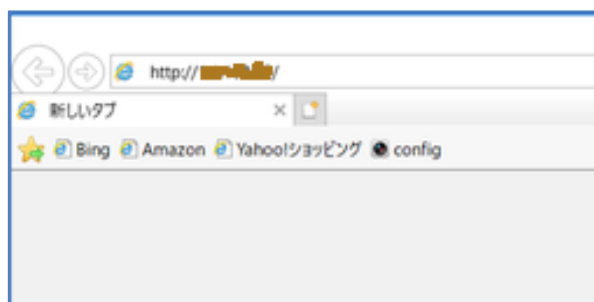
PC から Web ブラウザで接続することができます。
Web ブラウザからの接続手順を説明します。

1. IE11（Internet Explorer11）を起動します。

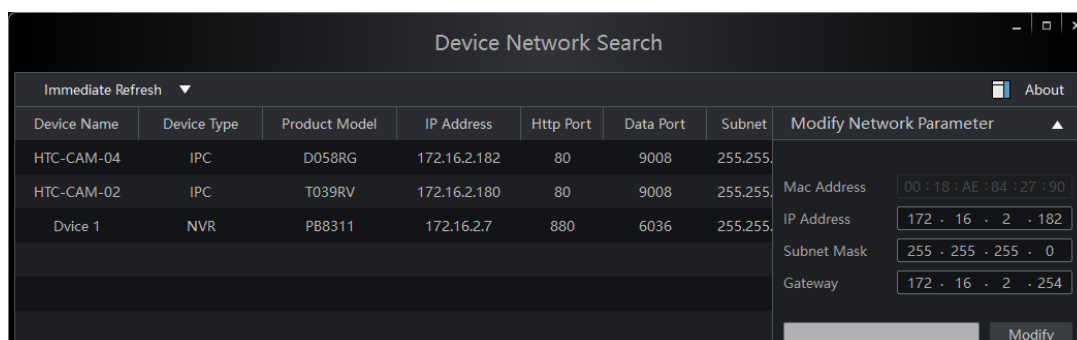
！ 注意 サポートしているブラウザは IE のみです。他のブラウザはサポートしていません。またバージョンは最新の 11 のみをサポートします。

！ 注意 IE は「管理者として実行」で起動してください。IE アイコンを右クリックして「管理者として実行」をクリックします。

2. IE のアドレスバーに検温ターミナルに設定した IP アドレスを入力します
URL は [http://IP アドレス:web ポート](http://IPアドレス:webポート)

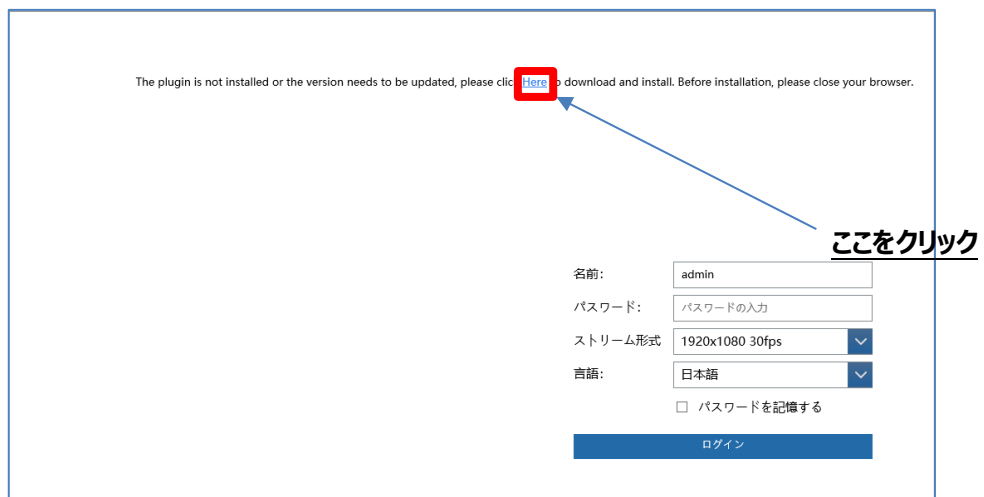


！ お知らせ IP-Tool に表示された検温ターミナルをダブルクリックすると、IE ブラウザがポップアップして IP カメラに接続することができます。



！ 注意 ブラウザで本機の映像を表示したり設定をする場合は、プラグインのインストールが必要です。

- ① 初めて検温ターミナルに接続すると、「Plugin がインストールされていない」または「Plugin を更新する必要がある」とメッセージが表示されますので Plugin をインストールします。



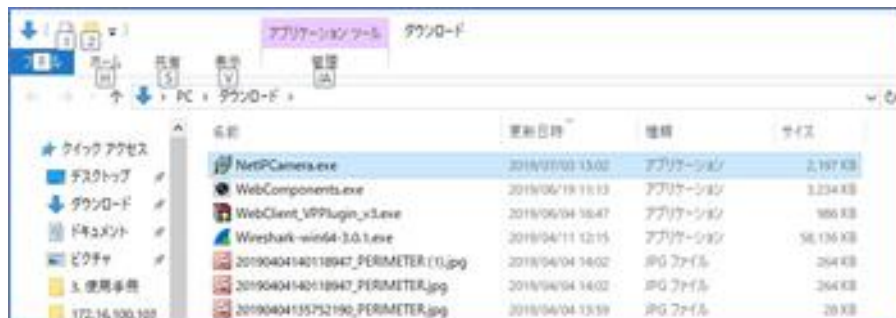
- ② Here をクリックすると、「NetIPCamera.exe を実行または保存しますか？」を表示するので「保存」をクリックします。



- ③ ダウンロードが完了しましたと表示されたら、「フォルダを開く」をクリックします。



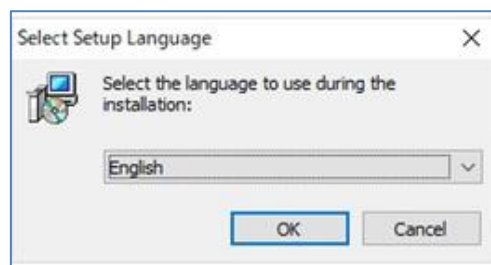
- ④ ダウンロードフォルダーに「NetIPCamera.exe」がダウンロードされています。
IEを終了（閉じる）した後、「NetIPCamera.exe」ダブルクリックしてインストールします。



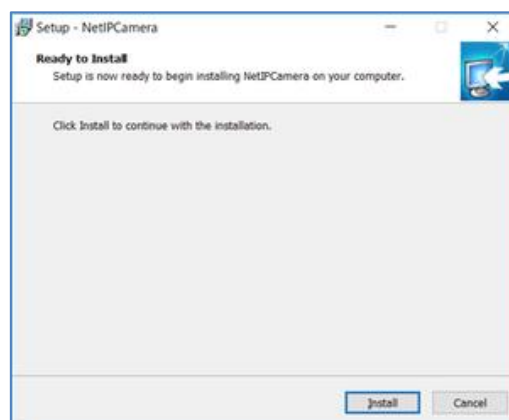
- ⑤ インストールが開始されます。「はい」をクリックします。



- ⑥ 言語は英語を選択してください。



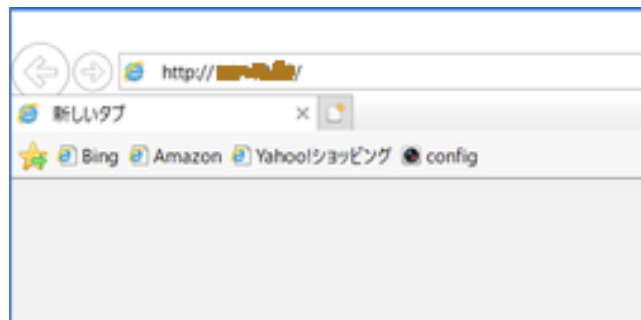
- ⑦ インストールをクリックします。



- ⑧ インストール完了のメッセージが表示されたら「Finish」をクリックします。



- ⑨ 再び IE を起動し、URL を入力します。



- ⑩ アドオンの実行を許可します。



3. パスワードを入力してログインをクリックします。
初期パスワードは「123456」です。



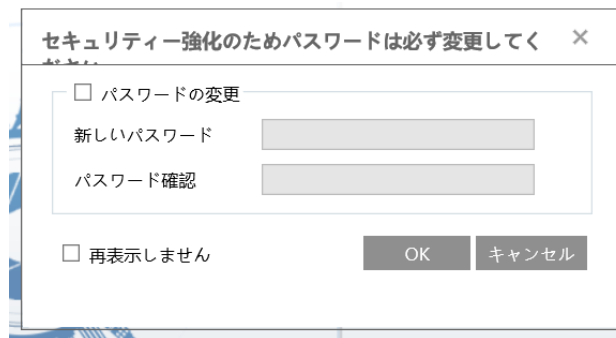
The login screen for the webcam interface. On the left is a large circular logo with a camera lens and city skyline. On the right is a login form with the following fields:

- 名前 (Name): admin
- パスワード (Password): [Redacted box]
- ストリーム形 (Stream Format): 2592x1520 10fps
- 言語 (Language): 日本語
- ☒ パスワードを覚える (Remember password)
- ログイン (Login) button

注意 ※パスワードは変更することをお勧めします

初期パスワードのまま運用すると、第三者からアクセスされて映像を盗み見されたり、カメラの設定を変更されてカメラにアクセスできなくなる恐れがあります。

ログイン時に下記のダイアログボックスが表示されますので、パスワードの変更に☑を入れ、新しいパスワード/パスワードの確認を入力して、OK をクリックします。



A dialog box titled "セキュリティ強化のためパスワードは必ず変更してください" (For security enhancement, you must change the password). It contains the following options and fields:

- ☐ パスワードの変更 (Change password)
- 新しいパスワード (New password) [Input field]
- パスワード確認 (Password confirmation) [Input field]
- ☐ 再表示しません (Do not show again)
- OK and キャンセル (Cancel) buttons

初期パスワードでログイン後、「セキュリティ→ユーザー→変更」でも admin のパスワードが変更できます。



This block shows the navigation path to change the password. On the left is the main settings menu with categories like System, Image, Alarm, Network, Security, and Maintenance. The 'セキュリティ' (Security) option is highlighted with a red box and an arrow. On the right is the 'ユーザー' (User) settings page, where the '変更' (Change) button is highlighted with a red box and an arrow. Below this is the 'ユーザーの編集' (Edit user) dialog box, which contains the following fields:

- ☐ パスワードの変更 (Change password)
- ユーザー名 (Username): admin
- 旧パスワード (Old password) [Input field]
- 新しいパスワード (New password) [Input field]
- レベル (Level)
- パスワード確認 (Password confirmation) [Input field]
- MAC結合 (MAC binding): 00:00:00:00:00:00 ☐
- OK and キャンセル (Cancel) buttons

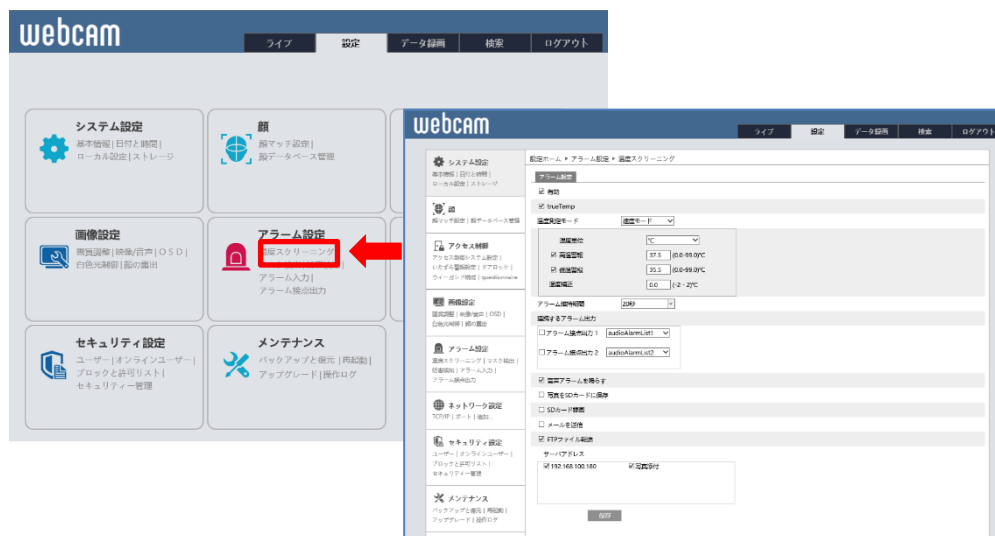
6. 検温および顔照合設定

6.1. 温度スクリーニング設定

温度スクリーニングは、タッチパネルまたは PC を介して設定できます。ここでは PC から、Web クライアント(Webcam)を介して温度測定を設定します。

ネットワークが接続されたら、Web クライアントに移動します。

1. 設定→アラーム設定→温度スクリーニング、を選択します。



2. 温度スクリーニングの設定項目の説明は以下の通りです。

表示	説明
有効	温度スクリーニング機能を無効/有効を設定します。
TrueTemp	有効では本体のモニタ画面に測定した温度を表示します。無効にすると、検温結果が正常範囲か異常かを表示し、温度は表示しません。
温度測定モード	速度優先モードと精度優先モードが選択できます。 精度優先モードでは検温に要する時間が長くなります。
温度単位	℃/ℱ が選択できます
高温警報	発熱者を検出した時の警報機能の無効/有効を設定します。 発熱者と判定する体温の閾値を設定します。
低温警報	(※低温警報機能はサポートしていません。)
温度補正	室温など環境による誤差を補正します。
アラーム維持時間	アラーム出力に対する維持時間とイベント録画のポスト録画時間を設定します。
連携するアラーム出力	本機背面のアラーム接点出力（無電圧接点）を設定します。二系統の接点が選択できます。 異常体温を検出した時に、接点を ON します。
音声アラームを鳴らす	異常体温者を検出した時、本体のスピーカーで警告メッセージを鳴らします。
写真を SD カードに保存	異常体温者を検出した時、SD カードにカメラの映像をキャプチャして保存します。
SD カード録画	異常体温者を検出した時、SD カードに動画を録画します。
メールを送信	異常体温者を検出した時、メールを送信します。

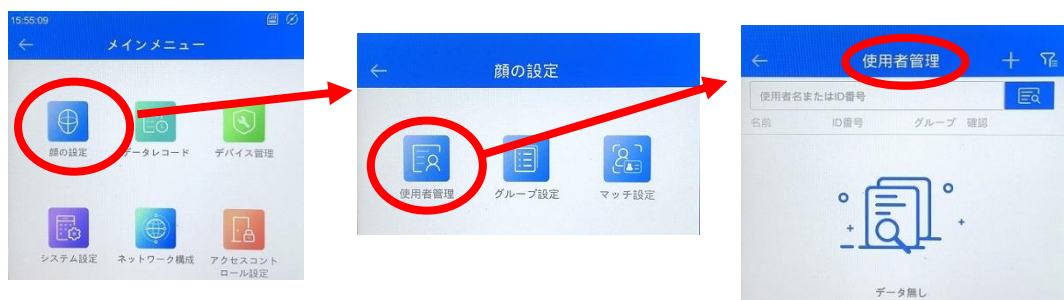
FTP ファイル転送	異常体温者を検出した時、FTP サーバーに検出情報(.txt)と写真を転送することができます。
サーバアドレス	通知するサーバを設定します。

- ❗ **お知らせ** 温度補正は±0.5°程度の範囲でお使いください。測定温度が、実際の温度と大きく違う場合、設置場所の環境に何らかの原因があると考えられます。まずは原因を取り除いてから、温度補正を利用してください。
- ❗ **お知らせ** 本体のタッチパネルで温度警報の閾値を設定する場合は、ログイン後、システム設定→温度測定とタップします。
- ❗ **お知らせ** メールを送信するには「9.4.7.電子メール」で事前に電子メールアドレスを設定する必要があります。
- ❗ **お知らせ** FTP ファイル転送については、「9.4.8.FTP」で事前に FTP 先の設定をする必要があります。

6.2. 使用者管理

顔の一致機能を使用する前に、最初に顔の写真を登録しなければなりません。タッチパネルから顔の写真を追加できます。設定手順は以下の通りです。

- (1) デバイスのメインメニューページの「顔の設定」→「使用者管理」を選択して、使用者の管理ページに移動します。

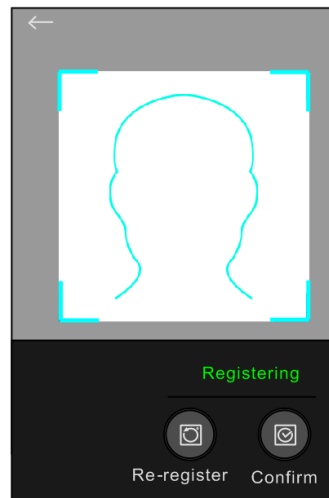


- (2) 「+」をタップして「ユーザーの追加」ページに入ります。

- (3) 名前、性別、年齢、電話番号、ID 番号、パスワード、グループタイプ、確認モードを設定します。

- ❗ **お知らせ** 項目名の最後に[*]がついている項目は入力必須です。

(4) 顔の行のをタップして顔写真を追加します。追加する顔の撮影については次項の説明を参照してください。



(5) タップして設定を保存します。

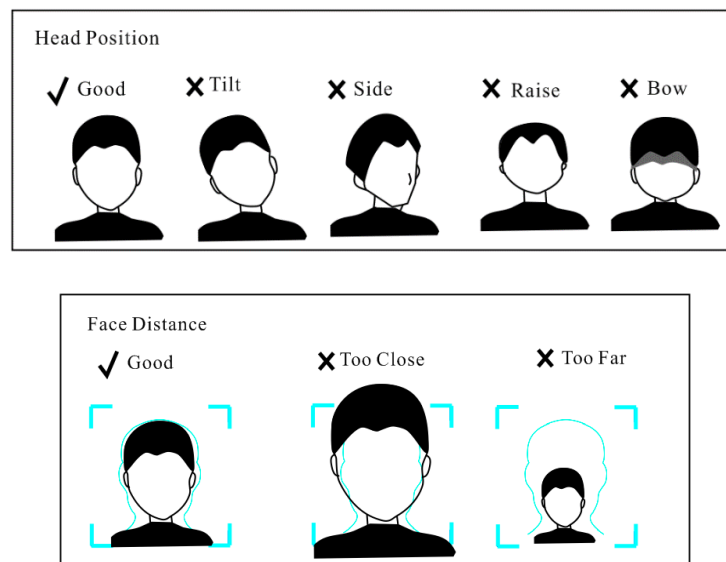
顔の追加:

カメラに向かい、画面に表示された顔マーカの内側に自分の顔が入るように、顔を前後に動かして調整します。

この時、自然な表情を保ってください。帽子、サングラス、その他の物体は顔認識機能に影響を与えますので着用しないでください。髪が目、耳などを覆わないように注意してください。マスク着用は着用しないでください。

顔登録のための端末と顔の間の推奨距離は 0.5～1 メートルです。登録者が、端末と適切な距離にあることを確認してください。

「画像が一致しません」と表示された場合は、顔画像が解析できないため登録に失敗しています。別の画像で登録してください。



その他の顔の追加方法については、「[6.5 顔データベース管理](#)」を参照してください。

6.3. 顔の認識エリアと認識サイズの設定

本機の動作は顔認識機能がベースになっており、AI で顔を認識し、更に額の位置を特定して温度を測定します。表示画面で顔を認識するエリアと、顔を認識するサイズが設定できます。

エリアを広くし、最小認識サイズを小さくすると、顔認識の感度は高くなりますが、顔認証やアクセスコントロールを行う場合は、意図としない動作に繋がる場合がありますので、目的に合わせて設定してください。

1. Web クライアント(Webcam)にて、設定→顔→顔マッチ設定→エリア、を選択します。

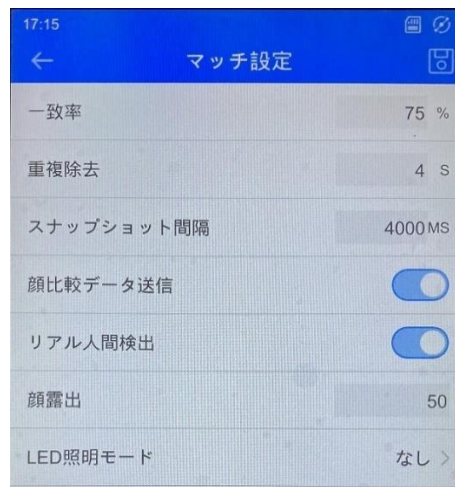


2. 顔マッチエリア設定項目の説明は以下の通りです。

表示	説明
エリアを描く/作図終了	黄色の枠が認識エリアです。 新しくエリアを設定する時は、「クリア」→「エリアを描く」をクリックし、新しいエリアをマウスでドラッグします。エリアの設定が完了したら「作図終了」をクリックします。
クリア	エリアをリセットします。
最小	顔を認識する最小サイズです。初期値は 5% です。 アクセスコントロール機能を使用する場合は 30 前後の設定がおすすめです。
最大	顔を認識する最大のサイズです。初期値は 50% です。

6.4. 顔照合の設定

顔の設定ページで、「比較設定」をタップして、比較設定ページに移動します



必要に応じて、類似性の一致率、重複除外期間(秒)、スナップショット間隔(ミリ秒)、顔比較データ送信、リアル人間検出、顔露出、LED 照明モードを設定してください。

Web クライアントを介して顔一致の設定インターフェイスを入力することもできます。設定手順は以下の通りです。

1. 設定→顔→顔マッチ設定→検出設定インターフェイスに移動します。

2. 「顔検出時に顔が含まれる写真全体を SD カードに保存する。」または「顔検出時に顔写真を SD カードに保存する。」を有効にします。

写真全体を保存:顔を検出したときに、カメラに写っている全体の画像が SD カードに保存します。

顔写真を保存:顔を検出した時に、顔の部分だけをトリミングして、顔写真を SD カードに保存します。

！ お知らせ ローカル PC に画像を保存するには、まずローカルスマートスナップショットストレージを有効にしてください(設定→システム→ローカル設定)。SD カードに画像を保存するには、まず SD カードを取り付けてください。

3. スナップショット間隔を設定します。5 秒を選択すると、カメラは同じターゲットを 5 秒ごとにキャプチャします。
4. 待ち時間では、SD カードに保存するスナップショットと録画の時間を設定します。スナップショット間隔 2 秒で、待ち時間 20 秒に設定した時は、顔認証した瞬間から 2 秒間隔で 20 秒間（10 枚）の静止画を保存し、動画は 20 秒

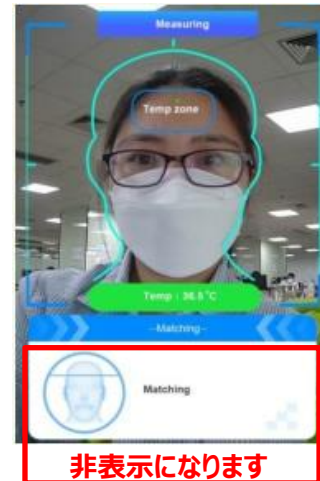
間録画します。

5. 顔認証に連動した、メール送信とFTP転送が設定できます。
6. 顔の比較オプションを設定します。

重複除去期間: 設定された期間で、繰り返し比較するのを禁止します。

類似性しきい値: 撮影された顔画像と顔データベースに登録された顔の類似性が、設定した閾値を超えると、同一の顔として認識されて、アラームがトリガされます。数値を下げると認識し易くなりますが、誤認識が増えます。数値を上げると認識率が下がりますが、同一顔の精度は上がります。

プッシュ顔比較データ: 無効になっている場合、顔比較結果の通知は端末の画面にも Web クライアントのライブインターフェイスにも表示されません。



アラームアウト: 顔比較に連動してアラームを出力します。接点出力 1 及び 2 に出力できます。

6.5. 顔データベース管理

Web クライアントのライブインターフェイスで、[設定] → [顔] → [顔データベース管理] をクリックします。これは、次のインターフェイスに入ります。

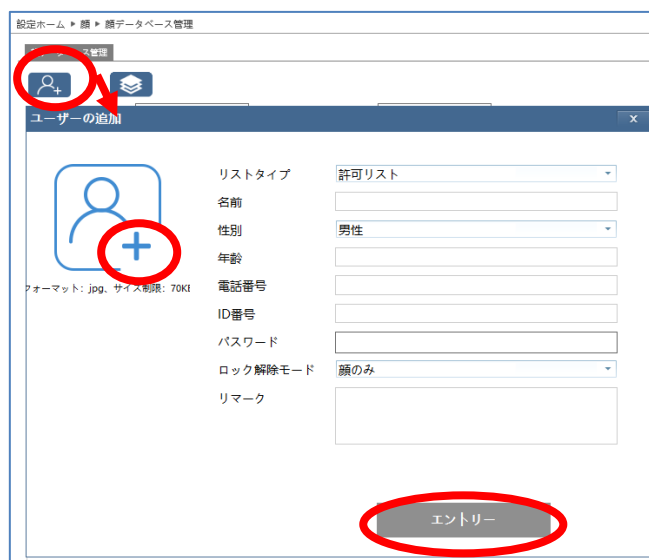


顔の写真を追加するには、3 つの方法があります。

- (1) 顔写真を一枚ずつ追加する

をクリックすると、ユーザー追加のボックスがポップアップ表示されます。次に、ローカル PC に保存されている顔の画像をクリックして選択します。

指定した形式とサイズの制限（70KB 以下）に従って画像を選択してください。その後、顔写真の関連情報を入力し、「エントリ」をクリックしてデータベースに登録します。

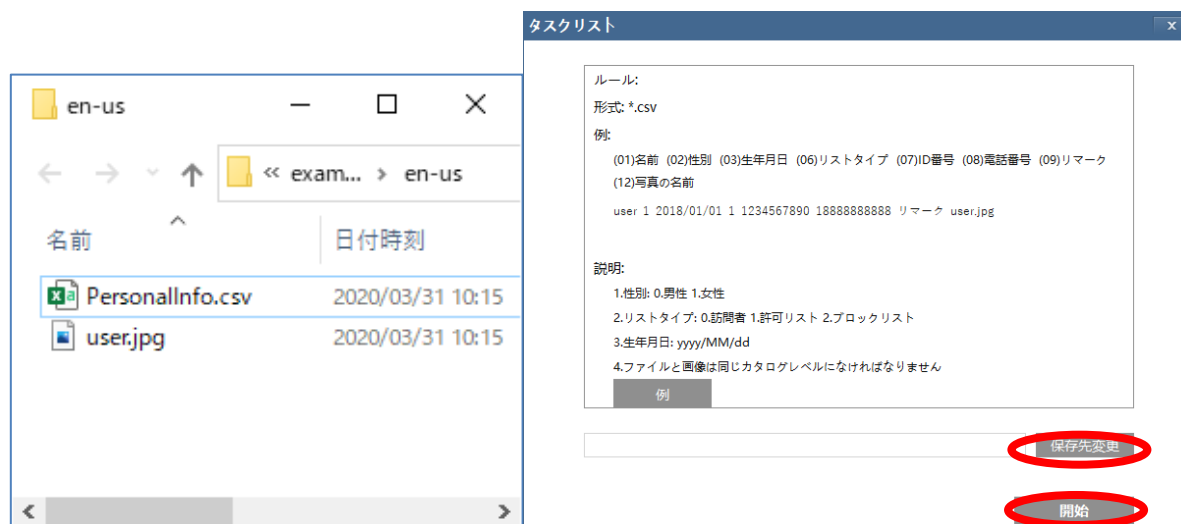


(2) 複数の顔画像を一度に追加する。

クリックして、表示されるルールに従って複数の顔の写真を追加します。以下は、DB 登録ファイルの例です(.CSV)。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	(01)名前	(02)性別	(03)誕生日	(06)属性	(07)ID番号	(08)電話番号	(09)備考	(12)写真ファイル名
2	Hytec Taro	1	2008/1/1		1 AA99-005		配手九 太郎	Hytec Taro.jpg
3	Hytec Hanako	0	2010/10/10		2 AX88-213		配手九 花子	Hytec Hanako.jpg

以下の左に示すように、情報ファイル(.csv)と画像を同じディレクトリに配置します。



[保存先変更] をクリックしてフォルダを選択し、[開始] をクリックしてアップロードします。

！お知らせ 顔 DB 登録の注意事項

① CSV による DB 登録は、差分の登録には対応していません。

DB を追加する場合は、差分の DB を作成して登録してください。

或いは、登録済みの DB を全て削除した後に、修正された新たな DB を登録し直してください。

※データベースの削除は、「顔データベース管理」で、『検索』→『削除』と操作してください。

②DB を削除すると、過去の顔照合結果の情報も削除されます。

DB の削除をする前に、必要に応じて、過去の顔照合結果のデータをバックアップしてください。

③CSV ファイルのフォーマットはハイテクインターの H.P でダウンロードできます。HIC-ST2000TH の「カタログ・資料・取扱説明書ダウンロード」からダウンロードしてください。

ダウンロードしたサンプルフォーマットの：DB_touroku_sample.csv の 1 行目は変更しないでください。

作成したファイルは CSV 形式のまま保存してください。※Excel 形式に変更しないでください。

④1 行目の登録項目の説明

(01)名前→アルファベットで入力してください

※日本語入力では、検温ターミナル本体画面に表示される、顔照合結果の名前表示が文字化けします。漢字の名前は(09)備考に登録してください。

(02)性別→男性 = 0/女性 = 1

(03)誕生日→年/月/日(YYYY/MM/DD)の形式で入力してください。

(06)属性→訪問者 = 0/許可者 = 1/ブロック = 2 ※通常は「1」許可者で登録してください。

(07)ID→最大 18 文字で登録してください。アルファベット、数字、記号が使用できます。

(12)写真ファイル名→登録する写真のファイル名(.jpg 含む)を入力してください。

⑤写真のサイズは 70KB 以下としてください (400X400～500X500 ドット程度)

また、少なくとも 160X160 ドット以上である必要があります。

以下のフリーソフトで複数の写真を一括で縮小できます

<https://i-section.net/software/shukusen/>

(3) キャプチャした画像をライブモードで追加します(「7.2 ウェブ経由のライブビュー」の「キャプチャした顔の画像をブックマークに追加する」を参照)。

(4) 顔の情報を登録したら、名前、性別、ID 番号などの条件を指定して「検索」をクリックすると、登録情報を検索できます。

設定ホーム ▶ 顔 ▶ 顔データベース管理

顔データベース管理

ブロックと許可リスト 全てのタイプ 性別 全てのタイプ

顔の名前 ID番号 検索 削除

Index	顔	ID	名前	性別	タイプ	ID番号	操作
1		1607468412	Mitani, Taro	男性	許可リスト	HY00000001	削除 変更
2		1607468411	Mitani, Kenji	男性	許可リスト	HY00000002	削除 変更
3		1607468410	Mitani, Hiroshi	男性	許可リスト	HY00000003	削除 変更
4		1607468409	Kitani, Taro	男性	許可リスト	HY00000004	削除 変更
5		1607468408	Kawano, Taro	男性	許可リスト	HY00000005	削除 変更
6		1607468407	Ishikawa, Taro	男性	許可リスト	HY00000006	削除 変更
7		1607468406	Ishikawa, Kenji	男性	許可リスト	HY00000007	削除 変更

「変更」をクリックして登録情報を変更し、「削除」で指定した顔の情報を削除します。

6.6. マスク検出

マスクの着用を検出する機能です。

端末や Web ブラウザ(Webcam)からマスク検出の設定ができます。

ここでは、Web クライアント経由でのマスク検出設定を例にとります。

1. 設定→アラーム設定→マスク検出、を選択します。



2. マスク検出の設定項目の説明は以下の通りです。

表示	説明
有効	マスク検出機能の無効/有効を設定します。
アラーム維持時間	アラーム出力に対する維持時間とイベント録画のポスト録画時間を設定します。アラーム出力は 1 と 2 の二系統を出力が可能です。
連携するアラーム出力	本機背面のアラーム接点出力（無電圧接点）を設定します。二系統の接点が選択できます。 マスク未着用を検出した時に接点を ON します。
音声アラームを鳴らす	マスク未着用を検出した時、本体のスピーカーで警告メッセージを鳴らします。
写真を SD カードに保存	マスク未着用を検出した時、SD カードにカメラの映像をキャプチャして保存します。
SD カード録画	マスク未着用を検出した時、SD カードに動画を録画します。
メールを送信	マスク未着用を検出した時、メールを送信します。
FTP ファイル転送	マスク未着用を検出した時、FTP サーバーに検出除法と写真を転送することができます。

6.7. 温度測定キャリブレーション（オプション）

本機能はオプション機能です。赤外線によって非接触で体表面温度を測定するため、測定値は、人体と本機の間、空気の影響をうけます。測定値が本来の温度と大きく異なる場合は、校正することができます。

1. タッチパネルの、システム設定→Temperature Calibration を選択します。



2. 以下の手順で操作します。

- ① 右のような非接触型体温計を「物体温度測定モード」にして、額の温度を測定します。
※ 人体温度測定モードではありません
- ② 測定した値を「額の表面温度（サーマルガンオブジェクト温度モード）」に入力します。
数値入力 BOX をタップすると、キーパッドが表示されます。
- ③ 「タブレットからの額の温度の読み取り」をタップします。
- ④ 顔を枠に合わせて撮影して額の温度を測定します。凡そ 15 秒ほど掛かります。



- ⑤ 温度校正完了（Temperature Calibration complete）と表示されたら、校正完了です。
エラーが表示された場合は、再度やり直してください。

！ お知らせ 常に 38℃ 前後またはそれ以上の温度を表示する場合は周囲の環境に問題がある可能性があります。この状態で温度校正を行っても正常に温度測定はできません。向きを変える（下左右）、少し場所を移動するなどして、設置環境を変えて測定温度が変わるか確認してください。

7. ライブビュー

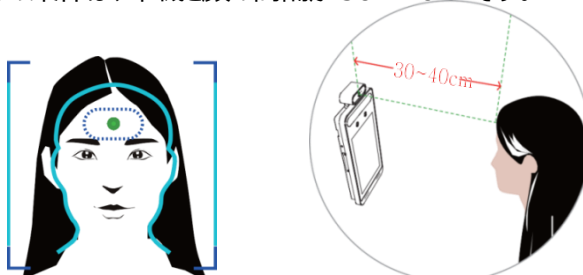
7.1. 温度測定と顔照合ビュー

7.1.1. 検温要件

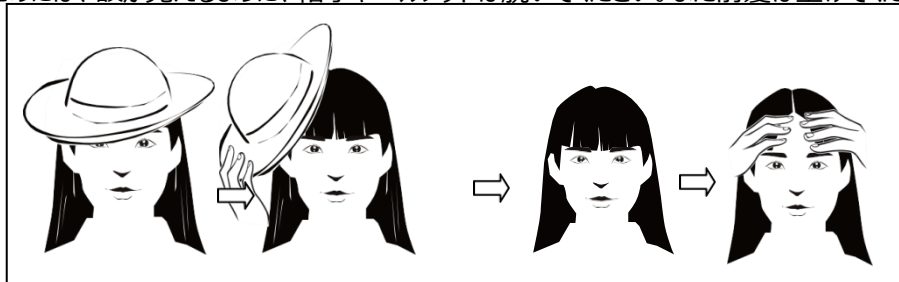
本機の動作は顔認識機能がベースになっており、検温機能でも、AI で顔を認識し、額の位置を特定して温度を測定します。検温の精度を良くするため、以下に推奨事項を示します。

1. 検温するためには予め設定された顔認識エリアに、設定したサイズで顔を撮影します。

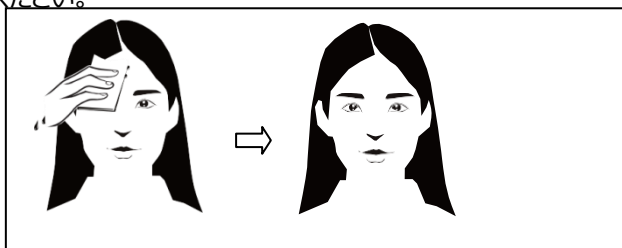
検温ポイントは画面の「温度エリア」枠内です。『+』アイコンが「温度エリア」枠内に表示される必要があります。また、より正確な温度を取得するための条件は、本機と顔の間隔が 30～40 cm です。



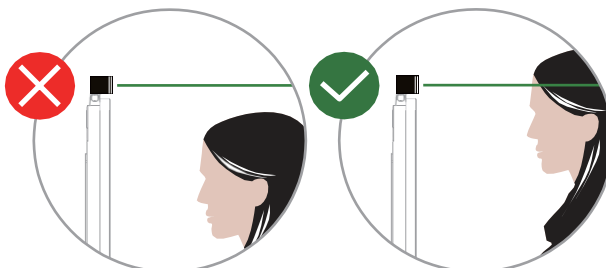
2. 正確な検温のためには、額が見えるように、帽子やヘルメットは脱いでください。また前髪は上げてください。



3. 検出された人の額が「温度エリア」にない場合、正確な温度は得られません。
4. 温度が通常値より非常に低い場合は、温度測定センサーに近づいて(温度センサーから 5cm-20cm 離れた場所へ)、正確な値を得てください。
5. 激しい運動の後は、休息してから温度をテストしてください。汗がある場合、額を拭き取って休んでから温度をテストしてください。冬の屋外など、低温の場所に滞在していた直後は皮膚の表面温度は低くなっています。室温で一定時間過ごした後に測定しなおしてください。

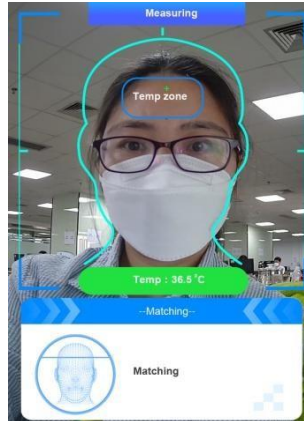


6. 設置の高さは、検温する人の額の高さに合わせてください。温度測定モジュールが、検温する人の高さより高くならないように注意してください。



7.1.2. 温度測定と顔照合ビュー

温度測定と顔の一致を設定した後、温度と顔の照合結果を画面に表示できます。
顔を検出すると、デバイスは次のインターフェイスを表示します。



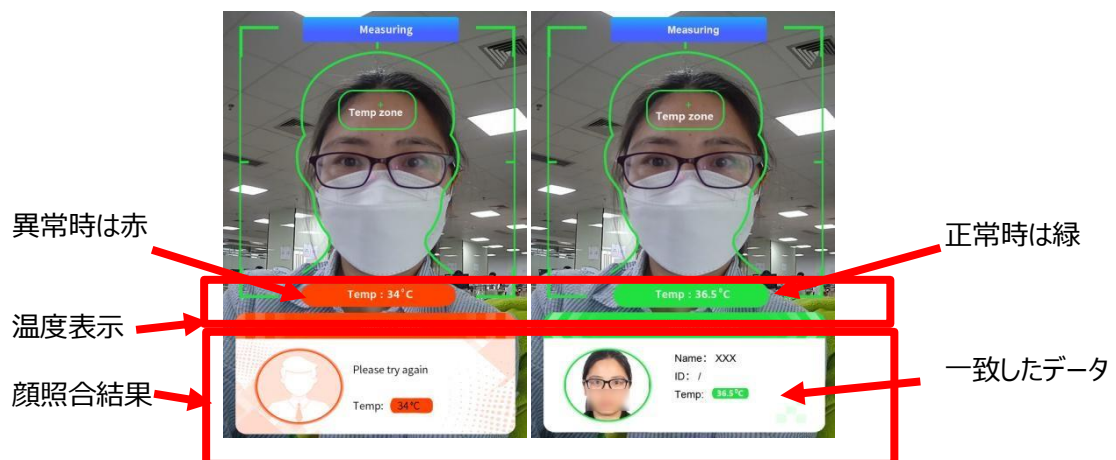
上記の温度測定要件に従って額の表面温度を測定します。

正常温度： 緑のブロックで検温結果を表示します。

音声アラームが有効な時は、音声通知で正常であることを通知します。

異常温度： 赤のブロックで検温結果を表示します。

音声アラームが有効な時は、音声通知で異常を検出したことを通知します。



システムは、温度を測定し、キャプチャされた顔を比較します。

キャプチャした顔が顔データベースに登録されていない場合、または類似度が事前に設定した閾値より小さい場合、「照合失敗」と表示され、ボックスが赤に変わります。顔データベースの情報と合致した場合は、緑色で認証成功の通知と、データベースに登録された顔の情報（名前、ID 番号等）を表示します。

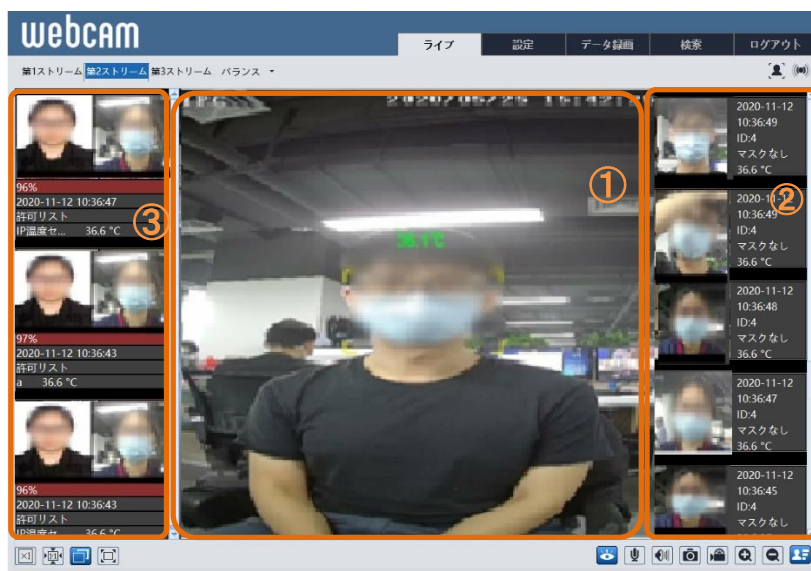
！お知らせ 顔認証を行うには、事前に顔データベースに情報を登録する必要があります。

！お知らせ マスク検出設定で「トリガ音声アラーム」を選択すると、マスクが未着用の場合は警告音を鳴らします。

7.2. ウェブ経由のライブビュー

Web ブラウザ(Webcam)の「ライブ」タブで、ライブ映像を監視できます。同時に、顔のキャプチャ画像、検温値、顔照合結果の確認も可能です。次のウィンドウが表示されます。

顔のキャプチャ画像や顔照合結果が表示されない場合は、右下の  アイコンをクリックしてから検温を行ってください。



- ① **ライブ映像表示エリア**：ライブ映像と検温値を表示します。
- ② **顔キャプチャエリア**：検出した顔をキャプチャして表示します。
- ③ **顔照合エリア**：顔データベースとの比較結果を表示します。検温値も表示します。

アイコンの動作は、下表となります。

アイコン	説明	アイコン	説明
	映像ストリーム選択		ライブビューのオン/オフ
	ストリームバランス選択		端末に送話する
	SD カード録画表示		端末の音を聞く
	顔検出アラーム表示		PC への静止画保存保存
	等倍表示 (1 : 1)		PC への手動録画のオン/オフ
	オリジナルアスペクト非での表示		ズームイン (デジタルズーム)
	ウィンドウサイズに合わせた表示		ズームアウト (デジタルズーム)
	フルスクリーン表示		全体/顔認証エリア表示

！お知らせ これらのアイコンは、カメラがこれらの機能をサポートし、対応するイベントが有効になっている場合にのみ選択できます。

- 比較の詳細を表示する
領域③で、比較した顔の画像をクリックして、次のウィンドウを表示します。このインターフェイスでは、詳細な比較情報を表示できます。

ID	1603236412
相程度	96%
時間	2020-11-12 10:36:47
リストタイプ	許可リスト
名前	IP温度センサ_2020_10_21_16_5
性別	男性
年齢	0
電話番号	
ID番号	
体温	36.6 °C

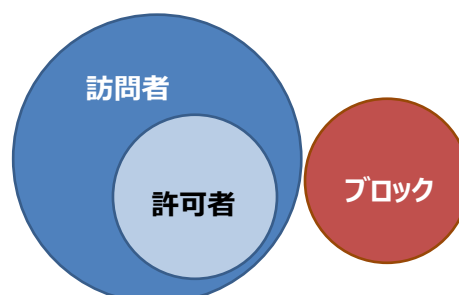
- キャプチャした顔の画像を顔データベースに追加する
[領域②]でキャプチャした画像をクリックすることで、顔データベースに追加することができます。次のウィンドウを表示します。

時間	2020-11-12 10:36:49
ID	4
リストタイプ	訪問者
名前	
性別	男性
年齢	
電話番号	
ID番号	
リマーク	

エントリー

関連情報を入力し、「エントリー」をクリックして、この顔の写真を追加します。

- **お知らせ** リストタイプにおける訪問者と許可書の関係は、訪問者は許可者よりも上位グループに位置します。ドアロック解除の条件で、訪問者を選択すると、訪問者と許可者に登録された全てのユーザーがドアロックを解除できます。解除の条件で、許可者を選択すると、訪問者に登録されたユーザーはドアの解除はできません。



8. アクセス制御設定

8.1. アクセス制御システム設定

アクセスコントロールに関する設定です。

端末や Web ブラウザ(Webcam)からアクセスコントロールに関するさまざまな設定ができます。

ここでは、Web ブラウザ経由でのアクセスコントロール設定を例にとります。

1. 設定→アクセス制御→アクセス制御システム設定、を選択します。



2. アクセス制御システム設定項目の説明は以下の通りです。

表示	説明
言語選択	本体のタッチパネルの表示言語です。日本語を選択します
音声選択	警告音声の言語です。日本語を選択します。
TouchScreenMode	タッチパネルの利用可否を選択します。
画面節電時間	本体のタッチパネルのバックライトを消灯するエコモード設定です。 一定時間顔が認識されない場合に、バックライトを消灯します。 10 秒～ 2 分と「決して」(消灯しない)、が選択できます。
ボリューム	本体のスピーカーの音量を調整します
画面の明るさ	本体タッチパネルのバックライトの明るさを調整します。

8.2. ドアロック設定

次のインターフェイスに移動するには、[設定] → [アクセス制御] → [ドアロック] をクリックします。ドアの開閉を制御する装置と端末が接点で接続された後、このインターフェイスでロック解除モードを設定できます。COM は共通端子です。制御する機器の仕様に合わせて、NC 用と NO 用の何れかの端子に電子錠を接続してください。

オープニング(ロック解除)モード:2 つのオプション - 正常な体温、マスクを着用、を選択できます。有効にしたモードが全て正常な場合、ロックを解除します。必要に応じて設定してください。

正常な体温:測定した人の皮膚表面温度が正常な場合、ドアのロックが解除されます。

マスクを着用:検出された人の顔にマスクが検出された場合、ドアのロックが解除されます。

グループのロック解除:ロックを解除するグループのデータベースを選択します。

ドアを開くの遅延時間:ドアのロック解除遅延時間を設定します。時間範囲は 0~10 秒です。たとえば、「顔認識による」が選択され、遅延時間が「2」秒に設定された場合、ロックは顔を認識した 2 秒後に解除されます。

オープン期間:ロックを解除した後、一定時間が経過すると、自動的にロックされます。ロックされるまでの時間範囲は 0~10 秒です。たとえば、「顔認識による」が選択され、オープン期間が「3」秒に設定されている場合、ロック解除された鍵は 3 秒後に自動的にロックされます。

選択後、保存をクリックすると設定できます。

！お知らせ DOOR 開閉接点制御の動作は、顔情報が一致すると、NC 端子は Close→Open、NO 端は Open→Close に変移し、「オープン期間」の設定時間が経過後に、NC 端子は Close、NO 端子は Open 状態に戻ります。

8.3. ウィーガンド(Wiegand)の設定

設定するには、[設定] → [アクセス制御] → [ウィーガンド構成] へ移動します。

アラームトリガモード:ウィーガンド入力、ウィーガンド出力またはオフを選択することができます。

ウィーガンド入力:カードリーダーがウィーガンドインターフェイスに接続されている場合。

Wiegand 出力(ウィーガンド出力):アクセスコントローラがウィーガンドインターフェイスに接続されている場合。

オフ:カードリーダーと連携がない場合

Wiegand モード:ビット数を選択します。

選択後、保存をクリックすると設定できます。

8.4. いたずら警報設定

盗難や破壊を避けるために、いたずら警報を設定することができます。次のインターフェイスに移動するには、[設定] → [アクセス制御] → [いたずら警報設定]をクリックします。

「いたずら警報」を有効にし、アラーム維持時間とアラームトリガーオプションを設定します。

アラームトリガーオプションの設定手順は、温度測定設定と同じです。詳しくは「[6.1 温度スクリーニング設定](#)」をご覧ください。

9. その他の構成

Web カメラクライアントで、構成インターフェイスに移動するには[設定]を選択します。

！ 注意 変更時には[保存]ボタンをクリックして設定を保存してください。

9.1. システム設定

9.1.1. 基本情報

「基本情報」インターフェイスには、デバイスのシステム情報が表示されます。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 基本情報	
デバイス名	IP温度センサ
モデル名	HIC-ST2000TH
ブランド	IPC
ソフトウェアバージョン	5.0.1.0(10946)
ソフトウェア構築日	2020-08-01
カーネルバージョン	20200516
ハードウェアバージョン	1.4M2
Onvifバージョン	19.06
ビデオ構造化バージョン	1.1.7
顔検出バージョン	1.3.1
顔マッチバージョン	2.0.2
OCXバージョン	2.1.2.2
MAC	00:18:ae:be:90:dc

一部のバージョンでは、デバイス ID と QR コードをサポートしている場合があります。P2P が有効になっている場合(ネットワーク構成-P2Pを参照)、QR コードをスキャンするかデバイス ID を入力して、ネットワークカメラをモバイル監視クライアントにすばやく追加できます。

9.1.2.日付と時間

設定→システム→日付と時間の設定に移動します。以下のインターフェイスをご参照ください。

必要に応じて、タイムゾーンとサマータイムを選択します。
「日時合わせ」タブをクリックして、日時調整モードを設定します。

NTP サーバに同期：NTP サーバと通信をして日時を同期します。設定する場合は、NTP サーバと通信できるか確認してください。

パソコンの時間に同期：現在の Web ページを表示しているパソコンの日時に合わせます。

手動で設定：入力した日時に設定します。

！ 注意 勤怠管理や入退出管理等、時刻情報が重要な場合は、時刻同期を有効にして運用してください。時刻同期していない場合、時計には「ずれ」が発生します。

9.1.3.ローカル設定

Webcam クライアントのライブビューで、ローカル PC 録画及び静止画保存する場合の、保存フォルダを設定します。

設定→システム設定→ローカル設定に移動します。静止画と動画の保存パスが設定できます。

音声録音の ON/OFF と、記録されるファイルのビットレート表示の ON/OFF も設定できます。

また、ローカルのスマート静止画保存ストレージをここで有効/無効にすることもできます。

9.1.4.ストレージ

ストレージは、デバイス左側側面のネジ止めされた蓋を外し、SD カードの挿入、または、USB インターフェイスのストレージを接続することで使用できるようになります。

● SD カード管理

設定→システム設定→ストレージ→管理へ移動します。

SD カードをフォーマットするには、「フォーマット」ボタンをクリックします。このボタンをクリックすると、すべてのデータが消去されます。

フォーマットボタンをクリックすると、状態欄が「フォーマット中」→「正常」と変化します。

32GB の SD カードのフォーマットは、正常な場合 1 分以内に終了します。

SD カードへのデータ書き込みを停止するには、「カード取り出し」ボタンをクリックします。その後、SD カードを安全に取り出すことができます。

写真保存領域: SD カード上でキャプチャされた画像の容量の割合を設定します。設定範囲は 10～50%

録画保存領域: SD カード上のレコードファイルの容量の割合を設定します。設定範囲は 50～90%



！お知らせ 写真保存領域と録画保存領域を変更する場合は、各領域の数値を変更したあと、フォーマットをクリックします。

！注意 フォーマットにより、SD カードにすでに保存されていたすべてのデータが消去されます。必要なファイルがある場合は、事前に PC などへバックアップをとっておいてください。

！お知らせ SD カードのデータは暗号化されています。SD カードを直接 PC に接続しても保存されたデータを見ることはできません。データをバックアップする際は、PC で接続してダウンロードしてください。

！注意 SD カードの保存領域の空きがなくなると古い画像や録画を削除しながら新しいものを保存します。必要な画像や映像は削除される前にダウンロードしてください。古い画像などを削除する順番については完全な日時順ではありません。

● 録画の設定

1. 以下に示すインターフェイスに移動するには、設定→システム設定→ストレージ→録画に移動します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 録画 写真撮影 USBディスク

録画パラメータ

録画ストリーム 第1ストリーム ▼

プレ録画時間 プレ録画なし ▼ (H264,H265,MJPEG)

上書きする はい ▼

2. 録画ストリーム、プレ録画時間、上書きする、を設定します。

録画ストリーム: 録画するストリームの種類を選択します。種類については画像設定の「9.2.2.映像/音声の設定」を参照してください

プレ記録時間: プレ記録はイベント発生前に遡って記録する機能です。3 秒、6 秒が設定できます。3 秒を設定すると、イベントが発生する 3 秒前からの映像を録画します。

上書きする: [はい]にすると、空き容量がなくなった場合に古い録画から消して上書きします。

3. スケジュール記録を設定します。[スケジュール記録有効] をオンにして、録画スケジュールを設定します。

設定された時間で実行

☐ スケジュール記録有効

☐ 削除 ☒ 追加

一週間の日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 手動入力																								
月	00:00-24:00 手動入力																								
火	00:00-24:00 手動入力																								
水	00:00-24:00 手動入力																								
木	00:00-24:00 手動入力																								
金	00:00-24:00 手動入力																								
土	00:00-24:00 手動入力																								

休日設定とスケジュール

日付 11-12

追加 削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00 手動入力

保存

一週間の日程

月曜日から日曜日までの録画時間を設定します。タイムバーは 1 時間単位で表示され、スケジュールは一分単位で設定できます。緑で表示された時間帯は録画し、空白の時間帯は録画しません。

追加: スケジュールを追加します。タイムライン上の時間を設定するには、マウスをドラッグします。

消去: スケジュールを削除します。タイムライン上の時間を消去するには、マウスをドラッグします。

手動入力: 設定したい曜日の[手動入力]をクリックして、開始時刻と終了時刻を入力します(分)。これにより、より細分された範囲が追加できます。

休日設定とスケジュール

休日などの特別な日の録画時間を設定します。

- ① 日付を入力して、設定ボタンをクリックします。右側の枠に追加した日付が表示されます。
- ② 日付の削除は、追加した日付を選択した後、削除ボタンをクリックします。
- ③ 特定日の録画時間の変更には、追加した日付を選択した後、上述の「一週間の日程」と同じ操作を行います。

！お知らせ 休日のスケジュールは、週のスケジュールより優先します。

● 写真撮影

以下に示すインターフェイスに移動するには、設定→システム設定→ストレージ→写真撮影に移動します。

SD カードに保存される画像のフォーマット、解像度、画質、イベント連動でのスナップショット間隔と枚数、時間実行のスナップショット間隔を設定します。

撮影枚数: ここで設定する数は、スナップショットの最大数です。スナップショットの実際の数は、この数より小さい場合があります。アラームイベントの発生時間が画像をキャプチャする時間よりも短い場合、スナップショットの実際の数はスナップショットの設定量よりも少なくなります。

設定された時間で実行: 有効にすると、設定した時間間隔で静止画をキャプチャして、SD カードに保存します。スナップショット保存のスケジュールの設定手順は、上述の録画の設定と同じです。

● USB ディスク

この機能は、USB フラッシュ ディスクの状態と容量を表示できます。

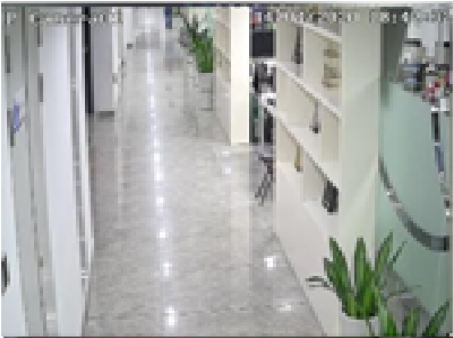
設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ			
管理	録画	写真撮影	USBディスク
状態	アンインストール		
総容量	0 MB		
使用済み容量	0 MB		
利用可能な容量	0 MB		

！ お知らせ 現在 USB ディスクで動作する機能はありません。

9.2. 画像設定

9.2.1. 画質調整

下図のように、[画像設定] → [画質調整] インターフェイスに移動します。画面の明るさ、コントラスト、色相、彩度などを設定できます。また、昼間と夜間で別々に設定できます。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整	
カメラのパラメータ	スケジュール選択
	撮影設定 常時
	輝度 <input type="range"/> 25
	コントラスト <input type="range"/> 50
	色相 <input type="range"/> 50
	彩度 <input type="range"/> 50
	シャープネス ☐ <input type="range"/> 50
	ノイズ除去 ☐ <input type="range"/> 30
	曇り鮮明化 ☐ <input type="range"/> 50
	BLC オフ
	フリッカレス オフ
	ホワイトバランス 自動
	映像周波数 60HZ
	露出モード 自動
	ゲインモード 自動
	ゲイン制限 <input type="range"/> 50
初期値 取り消し	

撮影設定：「常時」、「昼間専用」、「夜間」の3種類設定できます。「常時」は24時間同一の設定で運用、「昼間専用」は日中の時間帯専用の設定、「夜間」は夜の時間帯専用の設定で、それぞれ異なる設定値を登録することができます。

輝度：カメラの画像の明るさレベルを設定します。

コントラスト：最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを設定します。

色相：画像の色合いを設定します。

彩度：色の鮮明度を設定します。

シャープネス：画像の輪郭強調（シャープネス）レベルを設定します。

ノイズ除去：ノイズを減らすと、画像をより明確にします。値を大きくすると、ノイズ除去効果が良くなりますが、画像解像度が低下します。

曇り鮮明化：霧、ほこり、スモッグや雨などによる、不鮮明な映像を補正します。

BLC（逆光補正）：

- **オフ：**逆光補正機能を無効にします。これはデフォルトモードです。
- **HWDR：**WDR は、被写体に非常に明るい領域と非常に暗い領域の両方が同時に存在する場合、明るい領域の明るさを下げ、暗い領域の明るさを上げることで、白飛び、黒潰れを防ぎ、ダイナミックレンジの広い、良好な画像に調整します。
- **！お知らせ** モードが非 WDR モードから WDR モードに切り替わっている間、数秒間録画は停止します。
- **HLC：**画像のハイライト部をマスクすることでハレーションを防ぎ、画像を見やすくします。
- **BLC：**指定したエリアを明るく調整することで、逆光による黒潰れを調整します。

フリッカーレス：

- **オフ：**アンチフリッカー機能を無効にします。これは主に屋外設置で使用されます。
- **50Hz：**50Hz の照明条件でちらつきを低減 します。
- **60Hz：**60Hz の照明条件でちらつきを低減 します。

ホワイトバランス：環境に合わせて色温度を自動調整します。

映像周波数：50Hz(PAL)または60Hz（NTSC）を選択します。

露出モード：「自動」または「マニュアル」を選択します。マニュアルを選択した場合は、デジタルシャッター速度を調整できます。

ゲインモード：「自動」または「マニュアル」を選択します。「自動」を選択すると、実際の状況に応じてゲイン値が自動的に調整されます。ゲインの上限を設定してください。「マニュアル」を選択した場合、ゲイン値は手動で設定する必要があります。値が大きいほど、画像は明るくなります。

スケジュール設定：以下のように「スケジュール選択」タブをクリックします。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整	
カメラのパラメータ	スケジュール選択
スケジュール選択	24時間連続 ▼
撮影設定	常時 ▼
保存	

スケジュール選択：24 時間連続/指定された時間で実行、が設定できます。

撮影設定：常時/昼間専用/夜/自動、が設定できます。

24 時間連続を選択した場合、常時/昼間専用/夜/自動の何れかを設定します。

設定された時間で実行を選択した場合、スケジュールタイムバーで昼専用モードと夜モードの時間帯を設定します。

カメラのパラメータメニューで設定した昼間専用モードと夜モードが、設定したタイムバーに従って、自動で切り替わります。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ スケジュール選択

スケジュール選択 設定された時間で実行

時間範囲 0:00 4:00 8:00 12:00 16:00 20:00 24:00

■ 昼間専用 ■ 夜

保存

9.2.2.映像/音声の設定

下図のように、画像→映像/音声インターフェイスに移動します。このインターフェイスでは、実際のネットワーク状態に応じ、解像度、フレームレート、ビットレートの種類、ビデオ品質などを設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 音声

Index	ストリーム	解像度	フレーム	ビットレート	ビットレート	ビデオ品質	フレーム間	ビデオ圧縮	プロフィール
1	第1スト...	1920x1080	30	CBR	3072	最高	120	H264	High Profile
2	第2スト...	704x480	30	CBR	768	最高	120	H264	High Profile
3	第3スト...	480x240	30	CBR	512	より高	120	H264	High Profile

写真のストリーム 第2ストリー サイズ (704x480)

☐ ビデオエンコードスライス分割

☐ ウォーターマーク (H264, H265) ウォーターマーク文字

保存

「音声」タブをクリックして、次のようにインターフェイスに移動します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 音声

☒ 有効

音声形式 G711A 音声タイプ MIC

保存

3つのビデオストリームを調整できます。

解像度: 画像のサイズです。

フレーム: 1秒間のフレーム数を指定します。1～30を設定してください。フレームレートが高いほど、ビデオはより滑らかになります。

ビットレートの種類: CBRとVBRはオプションです。ビットレートは画質に関連しています。CBRは、撮影シーンに大きな変化（動き）があっても、圧縮ビットレートを一定に保ちます。VBRは、圧縮ビットレートがシーンの変化に応じて自動で調整されることを意味します。たとえば、あまり動かないシーンでは、ビットレートは低い値に保たれています。これは、ネットワーク帯域幅の使用を最適化するのに役立ちます。

ビットレート: モードがCBRに設定されているときに調整できます。ビットレートが高いほど、画質は向上します。

ビデオ品質: モードがVBRに設定されている場合に調整できます。画質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。

I フレーム間隔: I フレームとは、そのフレームのみのデータで 1 枚の画像を生成できるフレームです。他に、前や後ろのフレーム画像との差分のみを持つ B フレームや P フレームがあります。I フレームを挿入する間隔のフレーム数を入力してください。ネットワーク上でデータがロスすると次の I フレームまで画像が出ないか乱れる場合があります。ネットワークが安定している場合は、1 秒間のフレーム数よりも大きい値を設定しても問題なく、帯域幅の使用量が少なくなる可能性があります。ネットワークが不安定な場合は、小さい値にすべきですが、小さくしすぎると画像が荒くなる場合があります。また、設定値が高すぎると、動画の動きの頻度が高く、フレームがスキップされる危険性があります。

ビデオ圧縮: H.264、H.264+、H.265、H.265+、が選択できます。H.265/H.265+ を選択した場合は、クライアントシステムが H.265/H.265+ をデコードできることを確認してください。

プロフィール: H.264 用。BaseLine、MainProfile および HighProfile を選択可能です。

BaseLine より HighProfile のほうが、画像が鮮明になりますが、クライアントシステムによっては再生ができなかったり遅延がおきたりする場合があります。

写真のストリーム: イベントに対して生成するスナップショットのもとになるストリームを指定してください。

ビデオエンコードスライス分割: この機能が有効な場合、低パフォーマンスの PC を使用していてもスムーズな画像を得ることができます。

ウォーターマーク: 検索インターフェイスでローカル録画映像を再生すると、透かしが表示されます。有効にするには、ウォーターマークをオンにして、ウォーターマークのテキストを入力します。

音声形式: G711A および G711U を選択可能です。

音声タイプ: MIC のみです。

9.2.3.OSD 構成

以下に示すように、画像設定→OSD インターフェイスに移動します。

ここでは、日付時刻の表示、デバイス名、追加 OSD 文字列や写真オーバーレイを設定します。対応する表示を有効にしてコンテンツを入力したら、赤枠の箱をドラッグして位置を変更します。その後、「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

！お知らせ 日本語入力は文字化けする場合があります。文字化けする場合は、写真オーバーレイ機能をお使いください。

写真オーバーレイの設定: Windows アクセサリのペイントなどで、オーバーレイする文字を画像ファイルで作成しておきます。画像のピクセル数は 200*200 以下です。
「追加 OSD1」をチェックし、「写真オーバーレイ」を選択し、「保存策変更」をクリックして作成した画像を選択します。次に「アップロード」をクリックして画像をアップロードします。

9.2.4.白色光制御

[設定→画像→白色光制御] をクリックして移動します。

デバイス上部の白色ライトの明るさを設定できます。逆光や低照度の場合は、このモードを有効にしたほうが顔認識率の精度がよくなる場合があります。

白色ライトモード： [自動]、[マニュアル]、[オフ]が選択できます。自動は周囲が暗い時に、カメラが顔を認識すると点灯します。マニュアルは常時点灯、オフでは常時消灯です。

白色光の明るさ： マニュアルの設定の場合に表示されます。調整可能な範囲は 1(暗い) から 255(明るい) です。

設定したら、「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

9.2.5.顔露出

顔の露出を有効にして設定するには、設定→画像設定→顔の露出インターフェイスに移動してください。

顔の露出を自動調整します。数値が大きくなると顔が明るく映り、小さくすると暗く映ります。顔認識の精度が悪い場合、この数値を調整することで改善する場合があります。

9.3. アラーム設定

9.3.1.妨害検知

この機能は、カメラに対するいたずらや各種のエラーを検出し通知することができます。

妨害の検出を設定するには、以下に示すように、設定→アラーム設定→妨害検知インターフェイスに移動します。

1. 必要な検出を有効にします。

急激なシーン変化検出: カメラの方向を急に变えるなど急激な撮影画像の変化を検出します

不鮮明画像(ピンボケ)検出: カメラに半透明のフィルムを被せられたり、ピントがボケたりして、画像が不鮮明になると、映像異常を検出します

映像妨害検出: カメラを布や箱で隠されて、何も映らない状態になると映像異常を検出します

- 異常アラーム発砲の保持時間を設定します。
- 妨害検出の感度を設定します。スライダをドラッグして感度値を設定するか、テキストボックスに感度値を直接入力します。値が高いほど、より敏感に感知します。[保存]ボタンをクリックして設定を保存します。
- 連携するアラーム出力を設定します。

アラーム接点出力 1/2: カメラへの妨害を検出すると、カメラ内蔵のリレー出力が ON になります。

写真を SD カードに保存: カメラへの妨害を検出したときに画像をキャプチャし、SD カード上に保存します。

SD カード録画: カメラへの妨害を検出すると、SD カードに映像を録画します。

メールを送信: カメラへの妨害が検出されるとメールを送信します。「写真添付」がチェックされている場合、画像をキャプチャしてメールに添付します。メールの件名と内容をテキストボックスに入力します。検出されたイベントがそれらのアドレスに送信されます。

！ お知らせ メールを送信するには「[9.4.7.電子メール](#)」で事前に電子メールアドレスを設定する必要があります。

FTP ファイル転送: 妨害を検出すると、画像をキャプチャして、FTP サーバーアドレスに転送します。詳細については、「[9.4.8.FTP](#)」を参照してください。

- [保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

9.3.2.SD カードフル

SD カードへの残要領が無くなった場合に通知します。

- 設定→アラーム設定→妨害検知→SD カードフルに移動します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 妨害検知

検出設定 SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました。 LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム維持期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力1 ☐ アラーム接点出力2

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

- 「有効」をクリックし、アラーム維持時間を設定します。アラーム接点出力の維持時間です。
- 連携するアラーム出力を設定します。セットアップ手順は上の節「[9.3.1.妨害検知](#)」と同じです。
- [保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

！ 注意 通常はSDカードの容量がなくなると、古い映像や画像が削除されながら新しい記録が行われます。必要な映像や画像はダウンロードしておいてください。

9.3.3.SD カードエラー

SD カードへの書き込み中にエラーが発生した場合に通知します。

1. 以下に示すように、設定 → アラーム設定 → 妨害検知 → SD カードエラーに移動します。

2. 「有効」をクリックし、アラーム維持時間を設定します。アラーム接点出力の維持時間です。
3. 連携するアラーム出力を設定します。セットアップ手順は上述の節「9.3.1.妨害検知」と同じです。
4. [保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

9.3.4.IP アドレスの競合

カメラの IP アドレスが他のデバイスの IP アドレスと競合している場合に通知します。

1. 以下に示すように、設定 → アラーム設定 → 妨害検知 → IP アドレスの競合が検出されました、に移動します。

2. 「有効」をクリックし、アラーム維持時間を設定します。アラーム接点出力の維持時間です。
3. 連携するアラーム出力を設定します。セットアップ手順は上述の節「9.3.1.妨害検知」と同じです。
4. [保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

9.3.5.LAN ケーブル接続不良

LAN ケーブルが外れたり、切断されたりすると通知します。

1. 以下に示すように、設定 → アラーム設定 → 妨害検知 → LAN ケーブル接続不良に移動します。

2. 「有効」をクリックし、アラーム保持時間を設定します。アラーム接点出力の維持時間です。
3. 連携するアラーム出力を設定します。セットアップ手順は上述の節「[9.3.1.妨害検知](#)」と同じです。
4. [保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

9.3.6.アラーム入力

外部のセンサー等と連動させるためには、アラーム入力を設定します。

以下に示すように、インターフェイスで設定 → アラーム設定 → アラーム入力を表示します。

1. センサーID の左側の BOX で、入力 1 か入力 2 を選択します。
2. 「有効」をクリックして、接点形式、アラーム維持時間、センサー名を設定します。接点形式は入力に接続する機器の仕様に合わせて、N.O（ノーマルオープン）、N.C（ノーマルクローズ）の何れかを選択します。
3. 連携するアラーム出力を設定します。セットアップ手順は上述の節「[9.3.1.妨害検知](#)」と同じです。

4. [保存]ボタンをクリックして設定を保存します。
5. センサーアラームのスケジュールを設定します。スケジュールの設定手順は、SD カードへのスケジュール記録の設定と同じです。(「9.1.4.ストレージ」を参照してください)。

！ お知らせ センサーID で、アラーム入力 1、アラーム入力 2 を選択して、それぞれ異なる設定を登録できます。また、両方のアラーム入力に同じ設定を登録したい場合は「設定を適用する」をクリックします。

9.3.7.アラーム接点出力

設定 → アラーム → アラームアウトに移動します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力ID	アラーム接点出力1 ▼
アラーム出力モード	アラーム連動 ▼
アラーム出力名	alarmOut1
アラーム維持期間	20秒 ▼
接点形式	N.C. ▼

アラーム出力 ID: アラーム出力を選択します。出力 1 と出力 2 の二系統が選択できます。

アラーム出力モード: アラーム連動、手動操作、設定された時間で実行、を選択できます。

アラーム連動: 各種アラーム（温度検出、マスク検出、妨害検知、アラーム入力、いたずら検知）と連動します。

手動操作: このメニューから手動でアラーム出力を ON/OFF します。

設定された時間で実行: スケジュールを登録して、スケジュールに従ってアラーム出力を ON/OFF します。スケジュールを登録するには、「追加」をクリックし、タイムライン上でマウスをドラッグして緑のバーを配置します。配置した緑のバーを削除するには、「削除」をクリックしドラッグします。

接点形式: 接点形式は 2 種類選択できます。

N.C.: 通常接点が閉じている形式。アラーム出力で接点が開きリレーが切断されます。

N.O.: 通常接点が開いている形式。アラーム出力で接点が開きリレーが接続されます。

！ 注意 接点形式を変更する場合は、デバイスの再起動をしてください。

9.4. ネットワーク設定

9.4.1.TCP/IP

以下に示すように、設定→ ネットワーク設定→TCP/IP インターフェイスに移動します。ネットワーク接続には 2 つの方法があります。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

IP アドレスを使用する(IPv4/Ipv6) -IP セットアップには、2 つのオプションがあります。①DHCP によって自動的に IP アドレスを取得。②以下の IP アドレスを使用する。必要に応じて選択してください。

テスト: このボタンをクリックして、設定した IP アドレスが他の機器と競合しないかをテストします。

PPPoE を使用する -「PPPoE 設定」タブをクリックします。PPPoE を有効にし、ISP から入手したユーザー名とパスワードを入力します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 **PPPoE設定** IP変更通知設定

☐ 有効

ユーザー名

パスワード

IP 変更通知設定-PPPoE を使用してインターネットに接続すると、カメラはダイナミックな WAN IP アドレスを取得します。この IP アドレスは頻繁に変更されます。IP 変更通知機能を使用して通知を受け取ることができます。「IP 変更通知設定」をクリックして、次のようにインターフェイスに移動します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

メールを送信: デバイスの IP アドレスが変更されると、新しい IP アドレスが設定された電子メールアドレスに送信されます。メールを送信するには「[9.4.7.電子メール](#)」で事前に電子メールアドレスを設定する必要があります。

FTP ファイル転送: デバイスの IP アドレスが変更されると、新しい IP アドレスが設定された FTP サーバーに送信されます。FTP 転送するには「[9.4.8.FTP](#)」で事前に設定が必要です。

9.4.2.ポート

以下に示すように、設定→ネットワーク→ポートインターフェイスに移動します。HTTP ポート、データポート、RTSP ポートを設定できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP UPnP Email FTP HTTPS

HTTPポート 80

HTTPSポート 443

データポート 9008

RTSPポート 554

ロングポーリングポート 8080

保存

HTTP ポート: デフォルトは 80 です。未使用の任意のポートに変更可能です。

HTTPS ポート: デフォルトは 443 です。未使用の任意のポートに変更可能です。

データ ポート: デフォルトは 9008 です。必要に応じて変更してください。

RTSP ポート: デフォルトは 554 です。必要に応じて変更してください。

ロングポーリングポート: 顔の写真のようなスマートなデータをプッシュするサードパーティプラットフォームへの接続に使用されます。

9.4.3.サーバー構成

この機能は主にネットワークビデオ管理システムの接続に使用されます。

1. [有効] をオンにします。
2. ECMS/NVMS で転送メディアサーバの IP アドレスとポートを確認します。次に、新しいデバイスを追加するときに、ECMS/NVMS で自動レポートを有効にします。次に、ECMS/NVMS にデバイスの残りの情報を入力します。その後、システムは自動的にデバイス ID を割り当てます。ECMS/NVMS で確認してください。
3. 上記のサーバーアドレス、サーバポート、およびデバイス ID を対応するボックスに入力します。[保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

9.4.4.DDNS

カメラが DHCP 接続で設定されている場合は、インターネット用に DDNS を設定する必要があります。

1. 設定→ネットワーク設定→DDNS の設定に進みます。

2. ドメイン名を申請します。例えば www.dvrddns.com とします。IE アドレスバーに www.dvrddns.com を入力して、Web サイトにアクセスします。次に「登録」ボタンをクリックします。

ドメイン名を作成します。

ドメイン名が正常に適用されると、ドメイン名は次のように表示されます。

3. DDNS 設定インターフェイスで、ユーザー名、パスワード、ドメインを入力 します。
4. [保存]ボタンをクリックして設定を保存します



お知らせ autoddns.com は無償の DDNS サービスです。サービスサイトでの事前登録は不要です。
任意のドメイン名を入力して登録してください。

例 : `hytecinter- t okyo.autoddns.com`

autoddns.com 以外の DDNS サービスは専用サイトでの事前登録が必要です。

9.4.5.RTSP

設定→ネットワーク→RTSP に移動します。

[有効] を選択して、RTSP 機能を有効にします。

ポート: ストリーミングメディアのアクセスポート。デフォルトの番号は 554 です。

RTSP アドレス: メディアプレーヤーでストリームを再生するために使用できる RTSP アドレス (ユニキャスト) 形式。

ユニキャスト配信のアドレス

VLC で再生する場合は、VLC プレイヤーのアドレスに向けてのみ配信します。

第 1 ストリーム: アドレス形式は "rtsp://IP アドレス: rtsp ポート/ profile1"。

第 2 ストリーム: アドレス形式は "rtsp://IP アドレス: rtsp ポート/ profile2 "。

第 3 ストリーム: アドレス形式は "rtsp://IP アドレス: rtsp ポート/ profile3 "。

マルチキャスト アドレス

VLC で再生指示しても、マルチキャストが届くすべてのプレーヤーで再生できます。

第 1 ストリーム: アドレス形式は "rtsp://IP アドレス: rtsp ポート/ profile1?transportmode=mcast "。

第 2 ストリーム: アドレス形式は "rtsp://IP アドレス: rtsp ポート/ profile2?transportmode=mcast "。

第 3 ストリーム: アドレス形式は "rtsp://IP アドレス: rtsp ポート/ profile3?transportmode=mcast "。

音声: VLC プレイヤーでメイン/サブストリームに入ると、映像と音声自動的に再生されます。

「匿名ログインを許可」を有効にした場合、プレーヤーにユーザー名とパスワードを入力する必要はありません。

「自動開始」が有効な場合、マルチキャスト受信データを VLC プレイヤーに追加してビデオを再生する必要があります。

！お知らせ

- 1.VLC プレイヤーを通してローカルプレイをサポートするカメラです。WEB クライアントとの同時再生を実現するために、VLC プレイヤーの RTSP アドレス(ユニキャストまたはマルチキャスト、たとえば rtsp://192.168.226.201:554/profile1?transportmode=mcast)を入力します。
- 2.上記の IP アドレスは IPv6 のアドレスにすることはできません。
- 3.データが輻輳するため、同じローカルネットワークで同じマルチキャストアドレスを使用しないようにしてください。
- 4.VLC プレイヤーでマルチキャストストリームを通してビデオを再生する際は、VLC プレイヤーのモードに注意してください。
TCP モードに設定されている場合、ビデオを再生できません。
- 5.メインストリームのビデオの符号化形式が MJPEG の場合、ビデオはいくつかの解像度で乱れる可能性があります。

9.4.6.UPnP

この機を有効にすると、LAN 上にある本機を素早く検知してアクセスできます。設定→ネットワーク設定→UPnPに移動します。UPnP を有効にして、UPnP 名を入力します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP **UPnP** Email FTP HTTPS

☒ 有効

UPnP名

保存

9.4.7.電子メール

各種のイベントアラームや警告アラームと連動して電子メールを送信することができます。まずここで電子メールを設定してください。設定→ネットワーク設定→Email に移動します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP UPnP **Email** FTP HTTPS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名 ☐ anonymousSwitch

パスワード

サーバアドレス

安全な接続 不要 ▼

SMTPポート 25

☐ 送信間隔(S) 60 (10-3600)

受信者

受信者アドレス

送信者アドレス: 送信者の電子メール アドレス。

ユーザー名とパスワード: 送信者のユーザー名とパスワード。

サーバアドレス: メールサーバの IP アドレスまたはホスト名。必要に応じて、[安全な接続]プルダウンリストでセキュア接続の種類を選択します。

SMTP ポート: SMTP ポート。

送信間隔(秒): 電子メール送信の時間間隔。たとえば、60 秒に設定され、60 秒以内に複数のモーション検出アラーム

ムがトリガされた場合、それらは 1 つのアラームイベントと見なされ、1 つの電子メールのみが送信されます。1 つのモーションアラームイベントがトリガされ、60 秒後に別のモーション検出アラームイベントがトリガされた場合、2 つの電子メールが送信されます。異なるアラームが同時にトリガされると、複数の電子メールが別々に送信されます。
「テスト」ボタンをクリックして、アカウントの接続をテストします。

受信者アドレス: 受信者の電子メールアドレス。

最後に「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

例えば、顔検出時のメール内容は、以下となります。



！ お知らせ Gmail、Yahoo!メール、iCloud Mail、Outlook 等のフリーメールは使用できません。

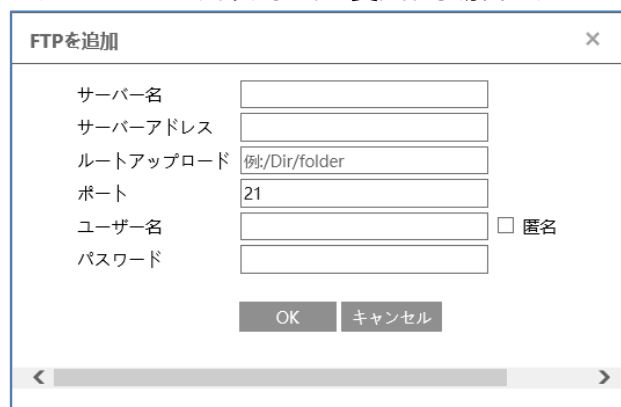
9.4.8.FTP

FTP サーバーをセットアップすると、イベントからキャプチャされた画像が FTP サーバーにアップロードされます。FTP 転送を設定するのは以下の手順です。

1. 設定→ネットワーク設定→FTP、を選択します。



2. FTP サーバーを追加するには、**追加** をクリックします。変更する場合は、**変更** をクリックします。



FTPを追加

サーバー名

サーバーアドレス

ルートアップロード 例:/Dir/folder

ポート

ユーザー名 ☐ 匿名

パスワード

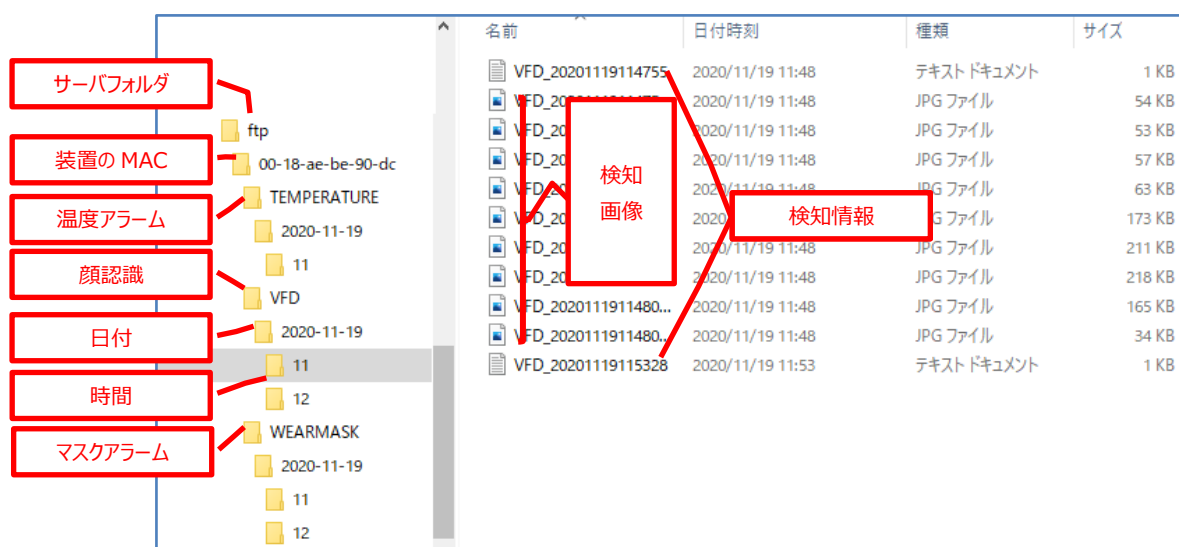
OK キャンセル

表示	説明
サーバー名	FTP サーバーの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
ルートアップロード	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバーのポート番号を入力します。
ユーザー名/パスワード	FTP サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。 匿名にチェックを入れると、ユーザー名とパスワードの入力を省略できます。

お知らせ **テスト** をクリックすると、選択している FTP サーバーとの接続確認を行います。

お知らせ **削除** をクリックすると、選択している FTP サーバーを削除します。

FTP サーバーへの送付は、以下のような構成となります。



9.4.9.HTTPS

HTTP は、Web サイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。以下に示すように、設定 → ネットワーク設定 → HTTPS に移動します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP UPnP Email FTP **HTTPS**

☐ 有効

証明書のインストール		削除
C=CN, ST=GD, L=SZ, O=IPC, OU=embeddec	発行されました: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=IPC, OU=embeddedsoftware, H=localhost, 発行者: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=IPC, OU=embeddedsoftware, H=localhost, 有効期限: 2020-03-14 08:12:45 ~ 2033-11-21 08:12:45	

属性

保存

上記のように、デフォルトでインストールされる証明書があります。この機能を有効にして保存します。その後、カメラは、https://IP:web ブラウザ経由の https ポート(例えば https://192.168.226.201:443)を入力してアクセスすることができます。

ユーザーが既定の証明書を使用しない場合は、プライベート証明書を作成できます。デフォルトの証明書をキャンセルするには、[削除] をクリックしてください。次に、次のインターフェイスが表示されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP UPnP Email FTP **HTTPS**

☐ 有効

インストールタイプ

- ☒ 証明書に署名して直接インストールしてください。
- ☐ プライベート証明書を作成する
- ☐ 証明書要求の作成

証明書をインストールする

保存

- 署名付き証明書がある場合は、[保存先変更] をクリックして選択し、[インストール] をクリックしてインストールします。
- 「プライベート証明書の作成」をクリックして、次を入力します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP UPnP Email FTP **HTTPS**

☒ 有効

インストールタイプ ☐ 証明書に署名して直接インストールしてください。

☒ プライベート証明書を作成する

☐ 証明書要求の作成

プライベート証明書を作成する

[作成] ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。国(2 文字のみ利用可能。日本は"JP")、ドメイン(カメラの IP アドレス/ドメイン)、有効日、パスワード、都道府県、地域などを入力します。次に「OK」をクリックして設定を保存します。
* は必須項目です。

プライベート証明書を作成する

国 * 例:CN

ドメイン *

有効期限 * 日

パスワード

州/州

領域

組織

単位

Eメール

- 「証明書要求の作成」をクリックして、次のインターフェイスを入力します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS RTSP UPnP Email FTP **HTTPS**

☒ 有効

インストールタイプ ☐ 証明書に署名して直接インストールしてください。

☐ プライベート証明書を作成する

☒ 証明書要求の作成

証明書要求の作成

[作成] をクリックして、証明書の要求を作成します。そして、証明書要求をダウンロードし、署名のために信頼された証明機関に送信します。署名された証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートします。

9.4.10.P2P (オプション)

この機能が有効な場合、ネットワークカメラは、WAN 経由でモバイル監視クライアントまたは CMS/NVMS クライアントにデバイス ID を追加することで、迅速にアクセスできます。設定 → ネットワーク設定 → P2P に移動して設定します。

☒ P2P

Save

9.5. セキュリティ設定

9.5.1.ユーザー

以下に示すように、構成 → セキュリティ設定 → ユーザーインターフェイスに移動します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ ユーザー			
追加 変更 削除			
Index	ユーザー名	ユーザー区分	MAC結合
1	admin	管理者	

ユーザーの追加:

1. [追加] ボタンをクリックすると、次のテキストボックスがポップアップ表示します。

ユーザーの追加

ユーザー名

パスワード

レベル

パスワード確認

ユーザー区分

MAC結合

パスワードは、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成できます。

管理者

00:00:00:00:00:00

OK

キャンセル

2. [ユーザー名] ボックスにユーザー名を入力します。
3. [パスワード]と[パスワード確認]にパスワードを入力します。
アカウントのセキュリティのために、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成される高レベルのパスワードを設定することをお勧めします。
4. ユーザー区分を選択します。管理者はすべてのアクセス許可を持っています。ノーマルユーザーはライブビデオのみを表示できます。上級ユーザーは管理者と同じ権限を持ちますが、次の機能を除きます。: ユーザー設定、バックアップ設定、工場出荷時のリセット、ファームウェアのアップグレード。

- 「MAC 結合」テキストボックスに PC の MAC アドレスを入力します。
このオプションが有効になっている場合、指定した MAC アドレスを持つ PC のみがそのユーザーのカメラにアクセスできます。
- [OK]ボタンをクリックすると、新しく追加したユーザーがユーザーリストに表示されます。

ユーザーの変更:

- パスワードや MAC アドレスを変更するためユーザーを選択します。
- 「変更」ボタンをクリックすると、「ユーザーの編集」ダイアログが表示されます。

- [旧パスワード] テキストボックスに、ユーザーの古いパスワードを入力します。
- [新しいパスワード] と [パスワードの確認] テキストボックスに新しいパスワードを入力します。
- 必要に応じて、コンピュータの MAC アドレスを入力します。
- 設定を保存するには[OK]ボタンをクリックします。

❗ **お知らせ** ユーザーの区分を変更するには、ユーザーを削除し、新しい区分で再度追加する必要があります。

ユーザーの削除:

- 削除するユーザーをユーザー構成リストボックスで選択します。
- ユーザーを削除するには、「削除」ボタンをクリックします。

❗ **お知らせ** 既定の管理者アカウントは削除できません。

9.5.2.オンラインユーザー

ライブビデオを表示しているユーザーを表示するには、設定→セキュリティ設定→オンラインユーザーに移動します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ オンラインユーザー					
Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザー区分	
1	192.168.10.100	64093	admin	管理者	キックアウト

管理者ユーザーは、他のすべてのユーザー（他の管理者を含む）を[キックアウト]ボタンをクリックして、追い出すことができます。

9.5.3.ブロックリストと許可リスト

以下に示すように、設定→セキュリティ設定→ブロックと許可リストに移動します。

セットアップ手順は次のとおりです。

[アドレスフィルタリングを有効にする] チェックボックスをオンにします。

「次のアドレスをブロックします/許可します」を選択し、IPv4/IPv6/MAC を選択し、アドレスボックスに IP アドレスまたは MAC アドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。

9.5.4.セキュリティ管理

以下に示すように、構成→セキュリティ設定→セキュリティ管理に移動します。

悪意のあるパスワードのロック解除を防ぐために、ここで「不正なログインによるロックを有効」機能を有効にすることができます。この機能が有効な場合、ログインが 6 回続けて失敗すると、ログインインタフェースがロックされます。30 分後、またはカメラが再起動した後に、カメラへ再びログインできます。

！ お知らせ ロックされても他の PC などからのログインは可能です。

9.6. メンテナンス構成

9.6.1. バックアップと復元

設定→メンテナンス→バックアップと復元へ移動します。

- インポートの設定

別のカメラの設定ファイルをインポートすることができます。

1. 「参照」をクリックして、事前にエクスポートした別のカメラの設定ファイルを選択します。
2. 「設定のインポート」ボタンをクリックします。
設定が読み込まれ再起動されます。

- エクスポートの設定

別のカメラをこのカメラと同じ設定にしたい場合、設定ファイルをエクスポートすることができます。

1. 「設定のエクスポート」ボタンをクリックします。
2. ダウンロードできたら「保存」メニューの「名前をつけて保存」を選択して、保存先を指定して保存します。

- 設定の初期化

「工場出荷設定に戻す」ボタンをクリックすると、保持するシステム設定以外のシステム設定がデフォルトの出荷時設定に戻ります。

! **注意** 設定を初期化すると、登録された顔 DB も削除されます。

9.6.2.再起動

設定→メンテナンス→再起動へ移動します。

「再起動」ボタンをクリックして、デバイスを再起動します。

定刻自動再起動:

必要に応じて、一定の間隔で再起動できます。「時刻の設定」を有効にし、曜日と時刻を設定し、「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

！お知らせ 再起動中はアラーム監視や録画はできません。

9.6.3.アップグレード

ファームウェアを更新します。

1. 設定→メンテナンス→アップグレード、を選択します。



2. **保存先変更** をクリックして、ファームウェアファイルを選択します。

3. **アップグレード** をクリックして、アップグレードを開始します。
4. アップグレードが成功すると、デバイスは自動的に再起動します。

- ⚠ **注意** アップグレード中にブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。
- ⚠ **注意** アップグレードすると、登録された顔 DB は削除されます。
- ⚠ **お知らせ** アップグレード開始から再起動が終了して正常に起動するまでは、アラーム監視や録画はできない場合があります。

9.6.4.操作ログ

ログを照会してエクスポートするには、

1. 設定→メンテナンス→操作 ログの設定に移動します。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ					
第一区分	すべてのログ	第二区分	すべてのログ		
開始時間	2020-11-13 00:00:00	終了時間	2020-11-13 23:59:59	検索	エクスポート
Index	時間	第一区分	第二区分	ユーザー名	ログインIP
1	2020-11-13 16:33:40	アラーム			
2	2020-11-13 16:33:36	アラーム			
3	2020-11-13 16:33:35	アラーム			

2. 第 1 区分、第 2 区分、開始時刻と終了時刻を選択します。
3. 操作ログを表示するには、[検索] をクリックします。
4. 操作ログをエクスポートするには、[エクスポート] をクリックします。

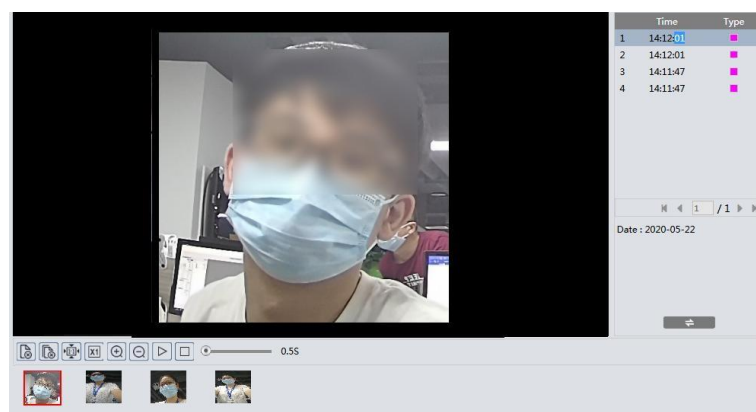
10. 検索

10.1. 画像検索

[検索] をクリックして、次のインターフェイスに移動します。ローカル PC や SD カードに保存されている画像はこちらからご覧いただけます。

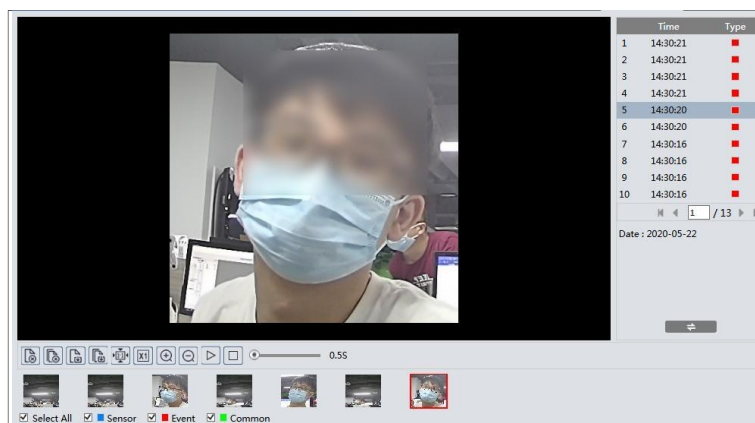


- ローカル画像検索
PC に保存された画像を検索して表示します。
 1. 「写真」-「この PC」を選択します。
 2. 時間の設定: 日付を選択し、開始時刻と終了時刻を選択します。
 3. 🔍 をクリックして画像を検索します。
 4. リスト内のファイル名をダブルクリックすると、下に示すように、キャプチャした写真が表示されます。



⇐ をクリックすると、前のインターフェイスに戻ります。

- SD カード画像検索
SD カードに保存された画像を検索して表示します。
 1. 「写真」-「SD カード」を選択します。



2. 時間の設定: 日付を選択し、開始時刻と終了時刻を選択します。
3. ブラウザの左下部のイベントの種類を選択します。
4.  をクリックして画像を検索します。
5. 一覧でファイル名をダブルクリックすると、キャプチャした写真が表示されます。
 をクリックすると、前のインターフェイスに戻ります。

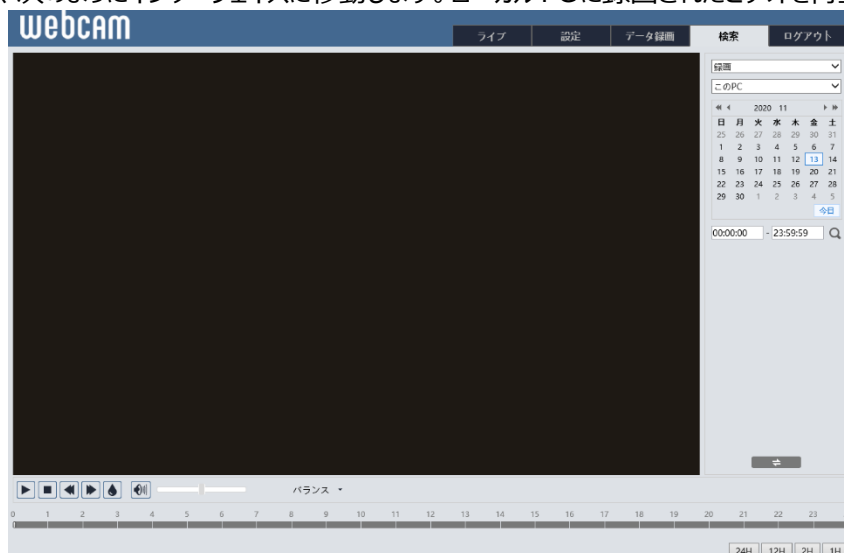
ボタンの説明は以下のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明
	閉じる: 選択した画像を閉じます。		すべて閉じる: すべての画像が閉じます。
	保存: 画像を PC に保存するパスを選択します。		すべてを保存: PC 上のすべての画像を保存するためのパスを選択します。
	フィットサイズ: 画面に画像が収まります。		実際のサイズ: イメージの実際のサイズが表示されます
	拡大表示: デジタルズームインします。		ズームアウト: デジタルズームアウト。
	スライドショーの再生: スライドショーモードが開始します。		停止: スライドショーを停止します。
	再生速度: スライドショーの再生速度。		

10.2. ビデオ検索

10.2.1. ローカルビデオ検索

[検索] をクリックして、次のようにインターフェイスに移動します。ローカル PC に録画されたビデオを再生することができます。



1. 「録画」-「この PC」を選択します。
2. 検索時間の設定: 日付を選択し、開始時刻と終了時刻を選択します。
3. をクリックして画像を検索します。
4. リスト内のファイル名をダブルクリックして再生開始します。

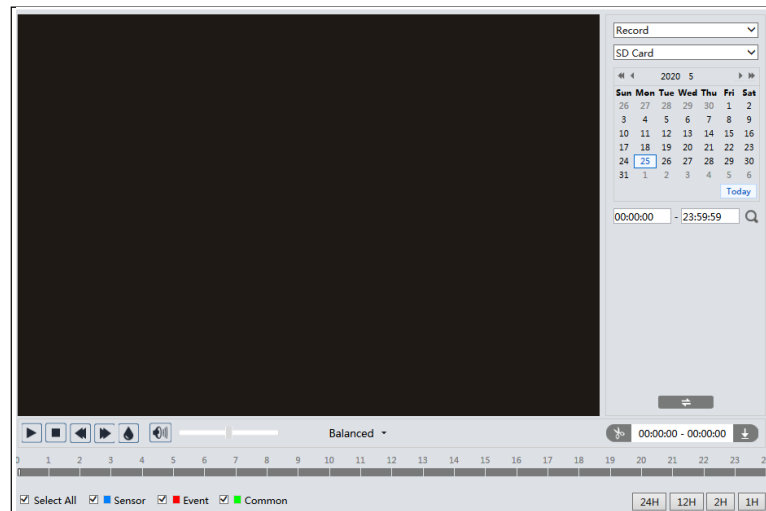


アイコン	説明	アイコン	説明
	再生ボタン。ビデオを一時停止した後、このボタンをクリックすると再生を続行できます。		[一時停止] ボタン
	停止ボタン		スピードダウン
	スピードアップ。		透かし表示
	オーディオを有効/無効にします。オーディオを有効にした後、スライダをドラッグして音量を調整します。		

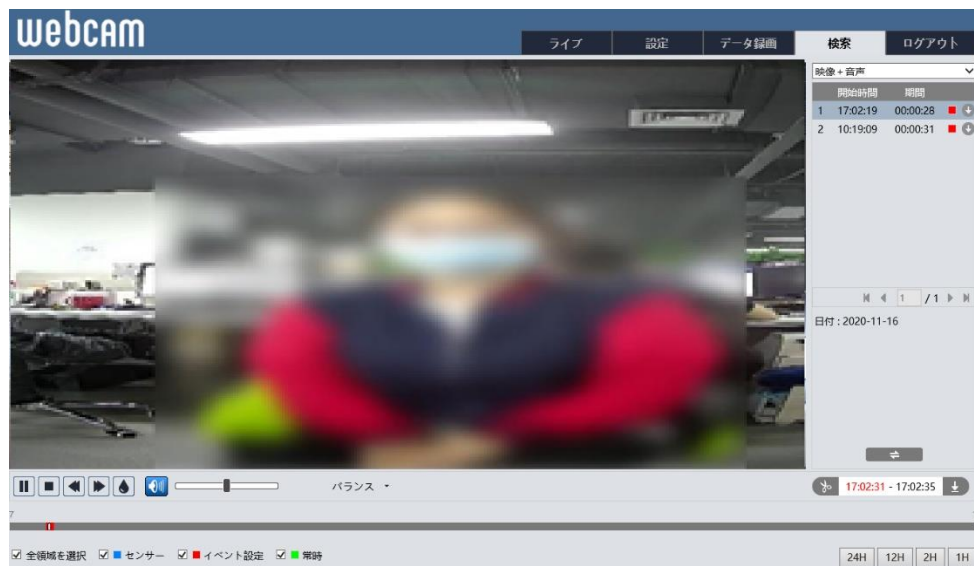
10.2.2.SD カードビデオ検索

[検索] をクリックして、次のようにインターフェイスに移動します。SD カードに記録された動画は、このインターフェイスで再生できます。

1. 「録画」-「SD カード」を選択します。
2. 検索時間の設定：日付を選択し、開始時刻と終了時刻を選択します。
3. クリック  して画像を検索します。



4. インターフェイスの下部にあるアラームイベントを選択します。
5. 必要に応じて、ミックスストリーム(ビデオおよびオーディオストリーム)またはビデオストリームを選択します。
6. リスト内のファイル名をダブルクリックして再生を開始します。



タイムテーブルは、対応するボタンをクリックすることで 24H/12H/2H/1H 形式で表示することができます。

ビデオクリップとダウンロード

1. 上記の手順に従ってビデオファイルを検索します。
2. タイムテーブルをクリックして開始時刻を選択します。

-

Index	進捗	録画タイプ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	100%	カット	2020-11-16 17:02:31	2020-11-16 17:02:35	work	ON

設定

C:\仕事\work

リストクリア

OFF

[設定]をクリックして、ビデオファイルの保存ディレクトリを設定します。

[ON] をクリックしてビデオを再生します。

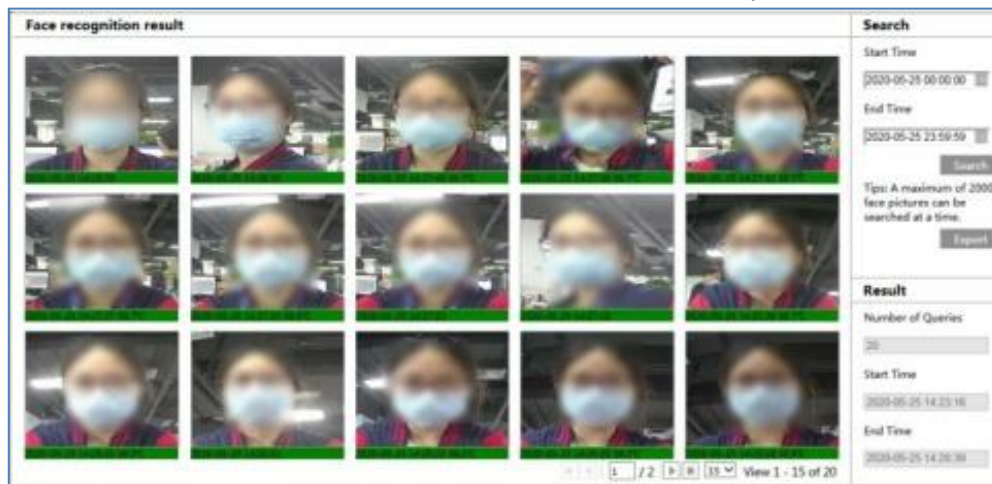
[リストクリア] をクリックして、ダウンロードリストをクリアします。

[OFF] をクリックしてダウンロードウィンドウを閉じます。

11. 顔照合検索

SD カードを実装している場合、Web ブラウザ(Webcam)の「データ録画」タブで、顔認識及び認証結果を検索して表示することができます。

1. 「データ録画」タブをクリックすると、顔認識/認証結果の検索インターフェイスに移動します。
開始時刻と終了時刻を設定して「検索」をクリックすると、指定した時間内の顔認識/認証結果が表示されます。



2. キャプチャした顔写真、体温、スナップショット時間が表示されます。
赤色のタイムタグは顔データベースに類似する顔がないことを意味します。緑のタイムタグは類似する顔が認識されたことを意味します。

緑のタイムタグが付いた写真をクリックすると、以下のように顔比較情報と体温が表示されます

また「エクスポート」をクリックすると、キャプチャした顔写真と顔照合結果のファイル.csv ファイルでエクスポートされます。



12. タッチパネル操作

タッチパネルから操作、設定ができる項目の一覧です。



メニュー1	メニュー2	機能	
顔の設定	使用者管理	認証する人物の登録、管理	
	グループ設定	訪問者、許可者、ブラックリストのグループ設定	
	マッチ設定	類似度	顔の類似性の一致率の設定
		重複除去	顔比較の間隔
		スナップショット間隔	静止画を撮影する間隔
		顔比較データ送信	顔比較結果表示(画面/Web)設定
		リアル人間検出	3D 顔
		顔露出	撮影時の顔の露出設定
		LED 照明モード	白色 LED の点灯モード
データレコード		日時を指定して照合結果を表示する	
デバイス管理	再起動	再起動する	
	工場出荷	全ての設定を工場出荷状態に戻す	
システム設定	基本情報	端末の情報表示	
	時間帯	タイムゾーン設定	
	日付と時間	日付と時刻の設定	
	使用者許可管理	管理者の設定	
	ローカル設定	言語選択	画面表示言語の設定
		音声選択	警告音声の言語設定
		ボリューム	警告音声のボリューム調整
		スクリーンの明るさ	画面の明るさ設定
		画面の節電モード	バックライト消灯設定
		画面節電時間	バックライトを消灯するまでの時間
	温度測定	温度測定	検温機能の ON/OFF
		温度スイッチ	℃、°F の選択
		温度設定	警告温度の閾値設定
		マスク感知	マスク未着用アラームの ON/OFF
		実際の温度を表示	画面への測定温度の表示 ON/OFF

	温度較正	ガンタイプの非接触温度計を使い基準温度を構成	
ネットワーク構成	ローカルネットワーク設定	IPV4/IPV6 のネットワーク設定	
	サーバー設定	認証サーバーの設定	
アクセスコントロール設定		鍵解除グループ	鍵解除を許可するグループの設定
		オープン遅延時間	認証後鍵を開けるまでの時間設定
		オープン持続時間	鍵が開いている期間の設定
		衝撃防止アラーム	端末の持ち去り、破壊等のアラーム
		WIEGEAND 入出力	
		WIEGEANDMODE	
		ドアを開ける条件	鍵を解除する条件の設定

付録

付録 1 トラブルシューティング

パスワードを見つける方法は？

A: デバイスをデフォルトの出荷時設定にリセットします。

デフォルト IP: 192.168.226.201; ユーザー名: 管理者。パスワード: 123456

IE ブラウザを使用してデバイスを接続できません。

A: ネットワークがうまく接続されていません。接続を確認し、接続が適切であることを確認します。

B: IP アドレスは使用できません。IP アドレスをリセットします。

C: Web ポート番号が変更されました: 管理者に連絡して正しいポート番号を取得します。

D: 上記の理由を除外します。IP-ツールでデフォルト設定に戻します。

IP ツールはデバイスを検索できません。

コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。終了してデバイスを再度検索してください。

IE は ActiveX コントロールをダウンロードできません。

A. IE ブラウザは ActiveX をブロックするように設定されている可能性があります。以下の手順に従います。

(1) IE ブラウザを開き、[ツール]→[インターネットオプション] をクリックします。

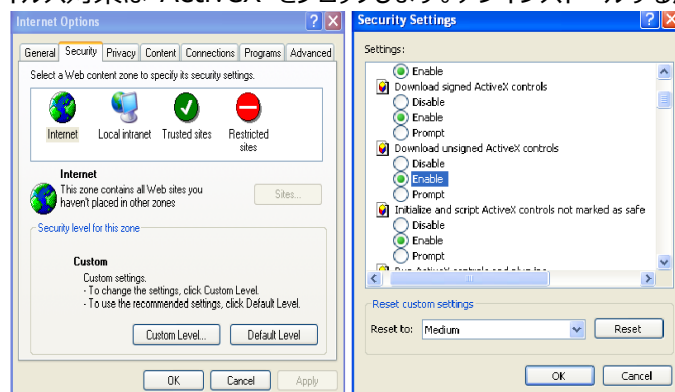


(2) セキュリティ-----カスタムレベルを選択します。

(3) 「ActiveX コントロールとプラグイン」のすべてのオプションを有効にします。

(4) [OK] をクリックしてセットアップを完了します。

B. その他のプラグインまたはウイルス対策は ActiveX をブロックします。アンインストールするか、閉じてください。



音が聞こえない。

A: オーディオ入力デバイスが接続されていません。接続して、もう一度やり直してください。

B: オーディオ機能は対応するチャンネルでは有効になっていません。この機能を有効にしてください。

顔の認識、温度測定に時間が掛かる

設置環境を確認してください。

背景に照明が写り込んでいませんか？背景に照明が写っていると、逆光状態で顔が暗くなり、認識し難くなります。

照明が写らない方向にカメラの向きを変えるなどし、改善しないか確認してください。

また、カメラの逆光補正機能（BLC 機能で DWDR を有効にする）や、顔露出の調整で改善しないか確認してください。

付録 2 仕様書

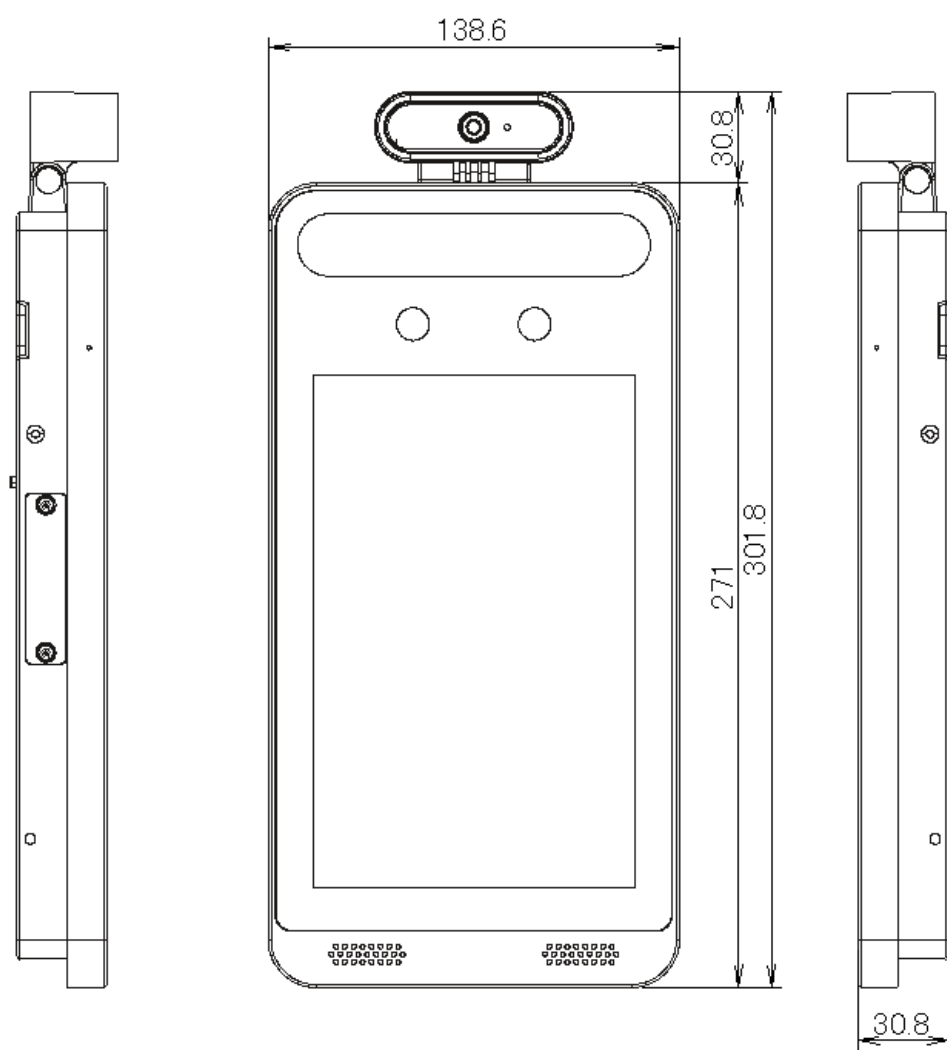
可視カメラ部	
撮像素子	1/2.8"2M CMOS SENSOR
レンズ	3.97mm@1.6 デュアルレンズ
DAY&NIGHT	Auto(白色 LED:1~3m、赤外線 LED:10m 連動)
シャッター速度	自動(1~1/100000) 及びフリッカレス
ホワイトバランス	自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル
DNR(ノイズ除去)	OFF/ON(Level:0~255)
WDR 機能	120dB OFF/ON(LEVEL 低、中、高)
逆光補正(BLC)	OFF/ON(エリア: 上/下/左/右/センター)
顔認証	顔検出、顔キャプチャ、顔データベース照合 (データベース登録 20000 人)
サーマルカメラ部	
測定温度範囲	35.5℃~42℃
温度測定誤差	±0.3℃ (医療用非接触温度計との比較/設置環境 16℃~35℃において)
温度測定可能な距離	30~40 cm (カメラと顔の間隔)
映像表示スクリーン部	
液晶画面	8 インチ LCD タッチスクリーン (コントラスト 500:1)
解像度	1280X800
ネットワーク部	
画像圧縮方式	H.265+/H.265/H.264/MJPEG
画像サイズ	Main:1920x1080/1280x720 2nd:1280x720/704x480/480x240/352x240 3rd:704x480/480x240/352x240
フレームレート	1~30fps
ビットレート	CBR/VBR(最大ビットレート設定:128K~4Mbps)
音声圧縮	G711A/μ
プロトコル	UDP,IPv4,IPv6,DHCP,NTP,RTSP,PPPoE,DDNS,SMTP,FTP,SNMP,802.1x,UPnP,HTTPs,QoS
インターフェイス規格	ONVIF (PROFILE S)
同時アクセス数	4
その他機能	オンラインユーザー表示,IP アドレスフィルター,MAC アドレスフィルター,パスワード保護,不正ログインロック
外部インターフェイス	
SD カードスロット	Micro SD/SDHC/SDXC (最大 128GB)
音声	内蔵スピーカー (音声通知対応) / 内蔵マイク(エコーキャンセル機能)
USB	1
RS485	1(D+/D-)
Wiegand	1(W0/W1/GND)
ドア制御	1(NO/NC)
イーサネット	RJ-45(10/100Base-T)
アラーム IN/OUT	IN:2ch / OUT:2ch
DC 入力コネクタ	+12V

顔認証機能	
推奨取り付け高さ	1.2～2.2m（推奨＝1.45m）
顔認証距離	0.3～2m（端末～顔の距離）
認証モード	1:N
顔認識速度	<0.5 秒/人
顔 DB 登録数	20,000
認証精度	99%以上
一般	
電源	DC12V(±10%)
消費電力	12W(DC12V/1A)
動作温度	0℃～40℃
温度測定可能な環境温度	16℃～35℃（湿度：0%RH～95%RH） / 室内であること
寸法	141(φ) ×H 100 mm
防水/防滴構造	IP65
重量	1200 g

！ 注意

- 本製品は医療機器ではありません。体表面温度を赤外線で測定する方式のため、外気温の影響を受け、脇の下で実測式体温計を使って測定した値とは差異が発生します。
- 冬季に外気温で額表面の温度が低い時には、温度の測定に時間が掛かったり、測定できない場合があります。室内で一定時間過ごし、額が温まってから測定してください。
- 本機の測定で異常体温を感知した場合、医療用体温計での再測定をお願いします。

付録 3 外観



単位: mm

製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂くことがあります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 検温値の精度、顔認証精度については保証の対象外とさせていただきます。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。